

## 令和2年度（2020年度）第2回つくば市行政経営懇談会

日時：令和2年（2020年）11月16日（月）

18時00分から19時30分まで

会場：つくば市役所コミュニティ棟1階 会議室2

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 議 事

（1）令和元年度（2019年度）つくば市市民参加取組状況報告について

（2）つくば市市民参加推進に関する取組の課題について

#### 3 その他

#### 4 閉会

#### 【配布資料】

- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| ・資料 1   | 令和元年度（2019年度）つくば市市民参加取組状況報告      |
| ・資料 2   | つくば市市民参加推進に関する取組の課題              |
| ・参考資料 1 | 令和元年度（2019年度）市民委員意見交換会資料         |
| ・参考資料 2 | 令和元年度（2019年度）市民委員意見交換会参加者アンケート結果 |
| ・参考資料 3 | 令和元年（2019年）市民委員アンケート結果           |
| ・参考資料 4 | 市民参加に関する情報の発信（広報つくば、SNS）         |
| ・参考資料 5 | 市民委員募集チラシ（2件）                    |
| ・参考資料 6 | 令和元年度つくば市民意識調査結果資料（一部を抜粋）        |
| ・参考資料 7 | 令和2年度（2020年度）市政への参加に関するアンケート結果   |



## 令和元年度（2019年度）つくば市市民参加取組状況報告

## I つくば市市民参加推進

## 1. 背景・経緯

つくば市では、平成30年3月に「つくば市市民参加推進に関する指針」を策定し、市政への市民参加を促進するため、市民参加を「共有、理解」、「企画・立案、計画」、「実行」、「評価・検証」の4段階で進めるとともに、つくば市の附属機関の委員及び懇談会等の構成員の一部に市民が参画することとした。

当指針では、市民参加推進の取組が効果的に実施されているかどうかを、つくば市行政経営懇談会において検証し公表することとしており、本報告は、令和元年度（2019年度）のつくば市における市民参加の取組状況について報告するものである。

## 2. 市民参加とは

市民参加には、「市民が直接的に市政に参加すること」及び「市民が主体的にまちづくり活動に取組むこと」の二つの側面がある。「つくば市市民参加推進に関する指針」では、市が実施する取組に市民が参加することを目的としていることから、市民参加のうち「市民が直接的に市政に参加すること」を対象とする。

## 3. つくば市市民参加の推進に関する基本的な考え方

<p><b>①情報の積極的な発信</b></p>	<p>市民が市政へ理解を深めていくために、行政が抱える課題や検討段階における論点など、市政の実情に関わる情報についても積極的に発信する。</p> <p>情報を受け取る市民の立場に立って情報を発信する。</p> <p>市民が興味関心を持ちやすい仕掛けやテーマを取り入れたイベントや情報発信を行う。</p>
<p><b>②参加しやすい環境づくり</b></p>	<p>できる限り参加を希望する市民が参加しやすい環境づくりを心がける。また、事業の分野や性質・内容に応じて、市民が参加しやすい方法を十分に検討する。</p> <p>様々な方法で市民参加の取組について周知するとともに、市民ができるだけ簡易に意見を表明できる方法を導入するなどの取組を進める。</p>

<p><b>③市民意見の積極的な反映</b></p>	<p>前例や既存の枠組みにとらわれることなく、柔軟な発想で市民の意見に向き合い、本当に必要な取組みを分野横断的な視点を持って考える。</p> <p>自らの意見を積極的に表明できない市民の声なき声も積極的に汲み上げ、反映するよう努める。</p> <p>地区相談業務の充実などの取組も一層推進する。</p> <p>市民の意見等を事業に反映できなかった場合は、反映できなかった理由とともに、丁寧にフィードバックを行う。</p>
----------------------------	--

#### 4. 令和元年度（2019年度）つくば市行政経営懇談会委員提言（平成30年度取組に対して）

平成30年度の結果から、市民参加推進の取組が着実に進められていると評価できる。参加する市民委員が少しずつ増えていくことで、一人でも多くの市民が市政に関心を深め、参加するきっかけになっていくことが期待される。

一方で、パブリックコメント手続きの意見提出者数が少ないこと、各ワークショップに同じ人が参加していることなどから、より幅広い市民の参加を進めることが必要である。その観点から、市民が市政に参加するためのきっかけとして、無作為抽出による市民委員等候補者名簿の利用が有効であり、より積極的な名簿の活用が求められる。

また、市民に役立つサービスが展開されているか、市民の評価が入ることにより、行政の改善も図られていくことが考えられるため「評価、検証」段階での市民参加の取組を増やしていくことが求められる。

市民参加推進の取組は始まったばかりであり、これからの行政の対応の在り方が一層重要となる。市民参加が行政の自己満足として落ち着いてしまうことがないように、上述の改善点に留まらず、行政自らが市民参加の理念の具体化を常に考え、積極的に取組を進めていくことが重要となる。過渡的な状況の中で、市民、行政ともに市民参加をよりよい方向に進めていくために積極的な意識と姿勢が求められる。

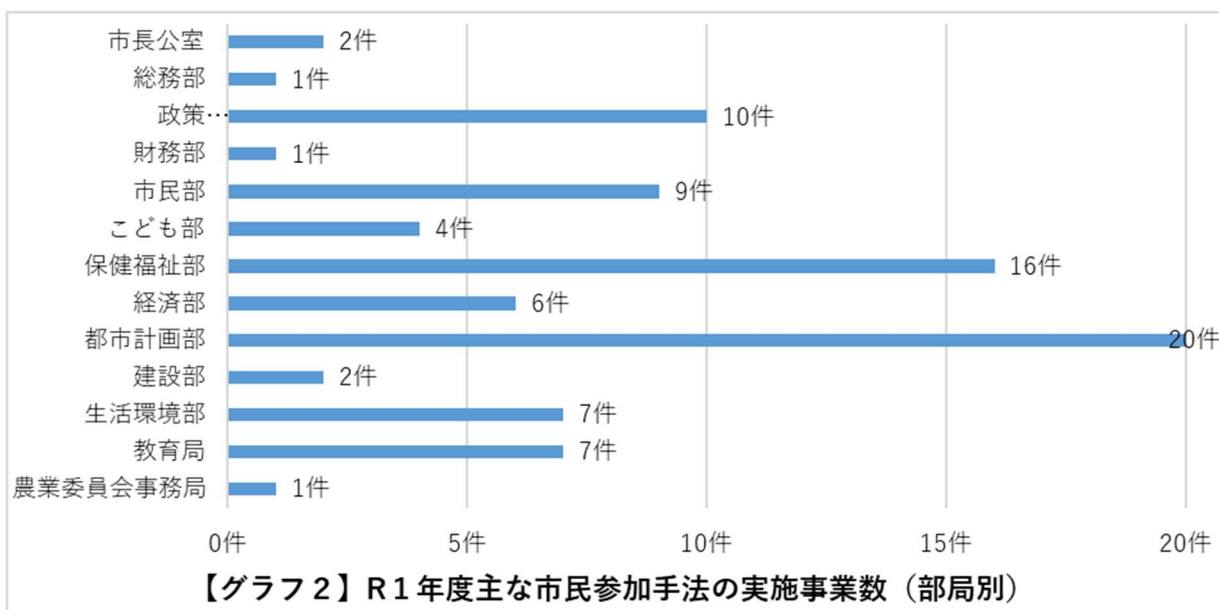
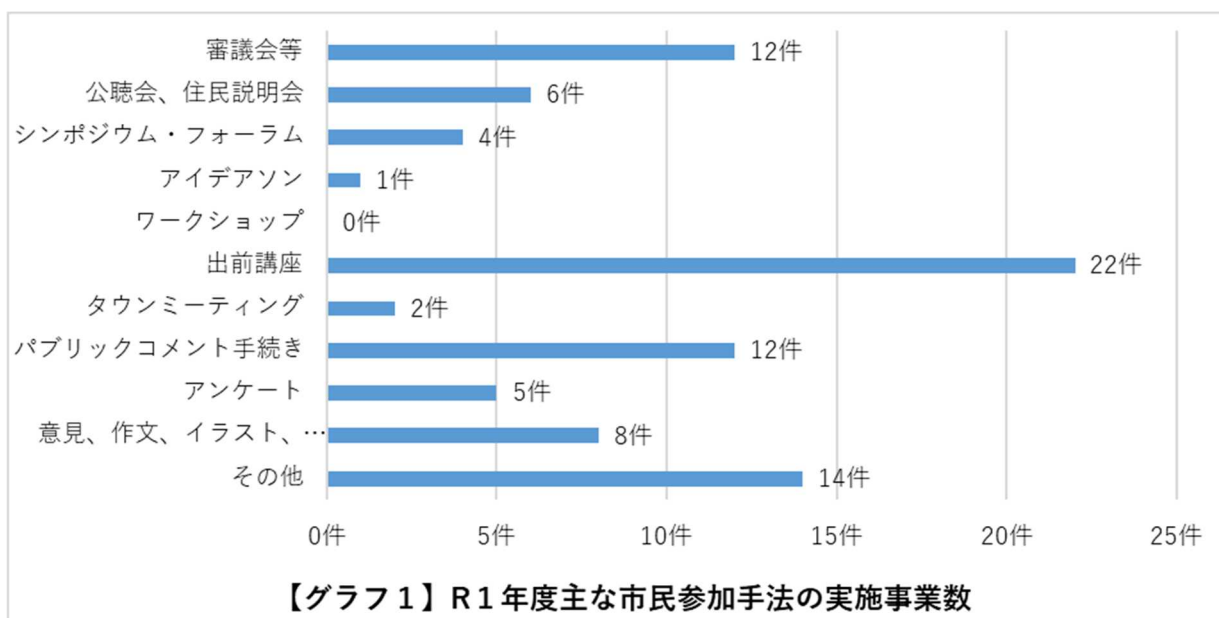
## II 令和元年度（2019年度）市民参加の主な取組実績

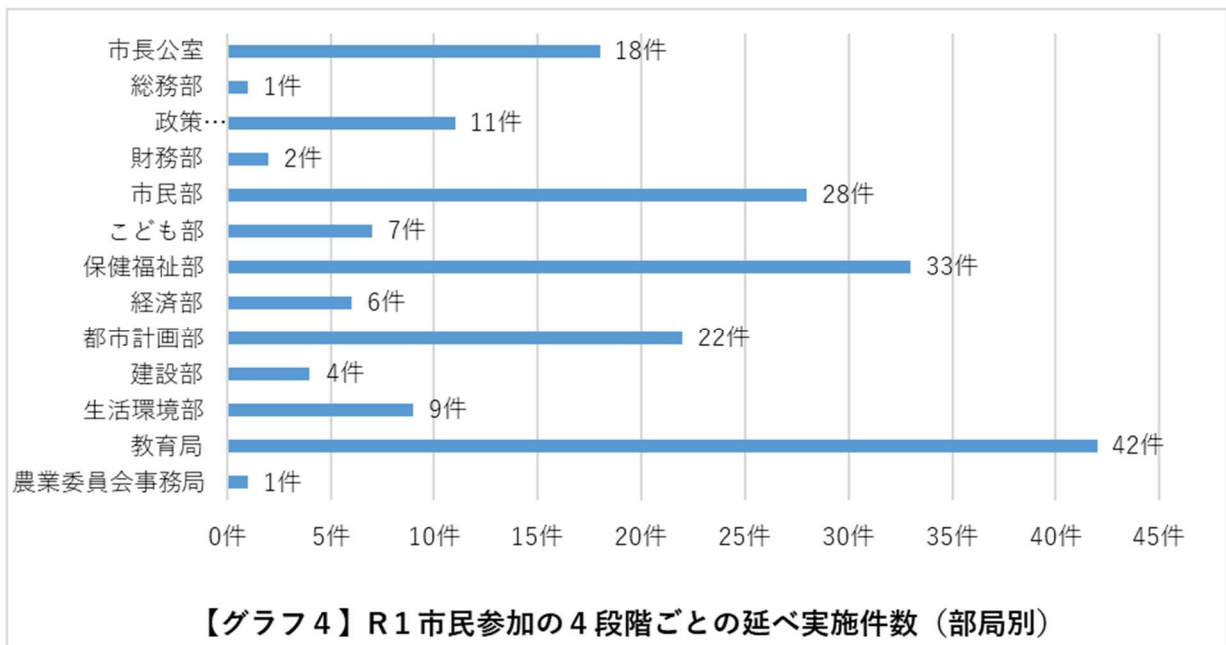
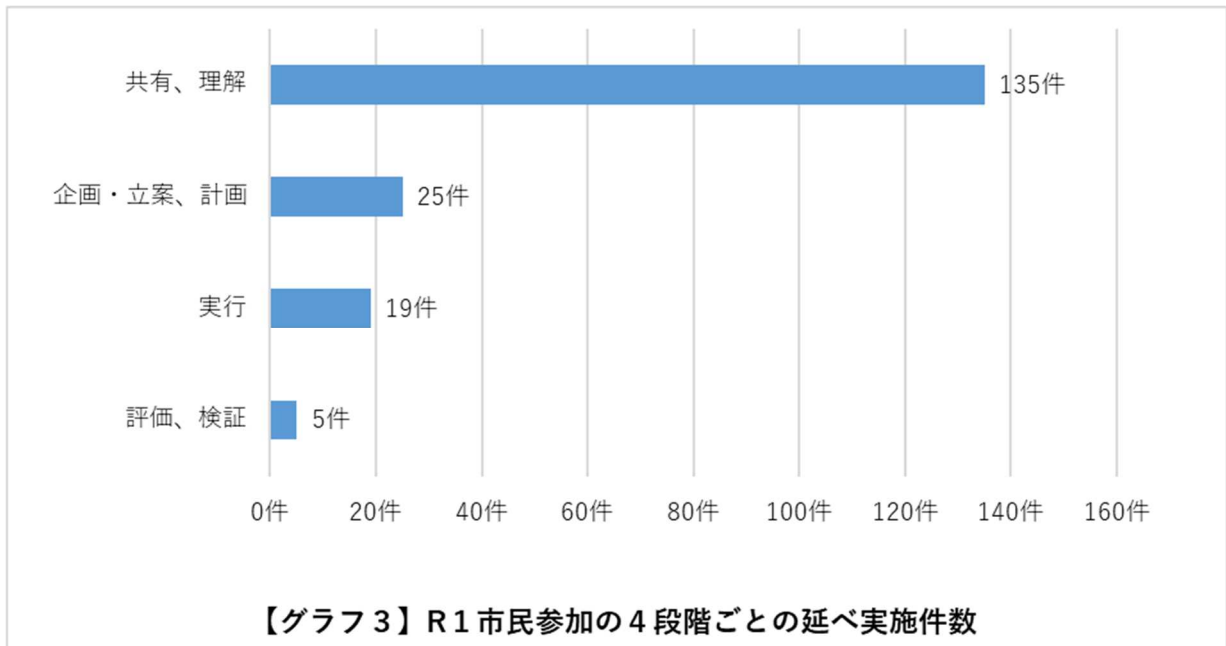
### 1. 市民参加の主な取組の実施件数等

令和元年度（2019年度）市民参加の取組を実施した事業数は64件である。主な手法の中で最も多く取り組まれたものは、出前講座22件となっている。なお、「その他の手法」としては、コンペティション審査会への参加、モニター、見学会や意見書の受付等が実施された。

また、「市民参加の4段階」の各段階に応じて、事業の分野や内容・性質などから、市民参加の取組が実施された。令和元年度（2019年度）は「共有、理解」が最多であり、次に計画の策定や改定等による「企画・立案、計画」段階での市民の参加が多い。なお、計画の改定に当たっては、現行する計画への評価も実施されており、手法としては、パブリックコメント手続き、審議会等が多く、また、住民説明会やアンケート調査など、事業実行段階で市民からの意見を求める事業が多い。

特出する取組としては、企画経営課で実施したつくば市未来構想等キャラバンが挙げられる。





## 2. パブリックコメント手続きの実施

令和元年度（2019年度）のパブリックコメント手続き実施件数は13件、提出された意見数は341件、意見者数は125人である。意見提出方法については昨年度同様、電子申請が最多であり、全体の77.6%の利用率であった。

寄せられた意見の種類としては、計画等の修正や追記を求めるもの、計画等を実行する上での助言、市が実施している取組に対する要望等が挙げられる。

なお、パブリックコメント手続き13件のうち9件で寄せられた意見による計画等の修正が行われた。

【表1】R1年度パブリックコメント手続き実施結果

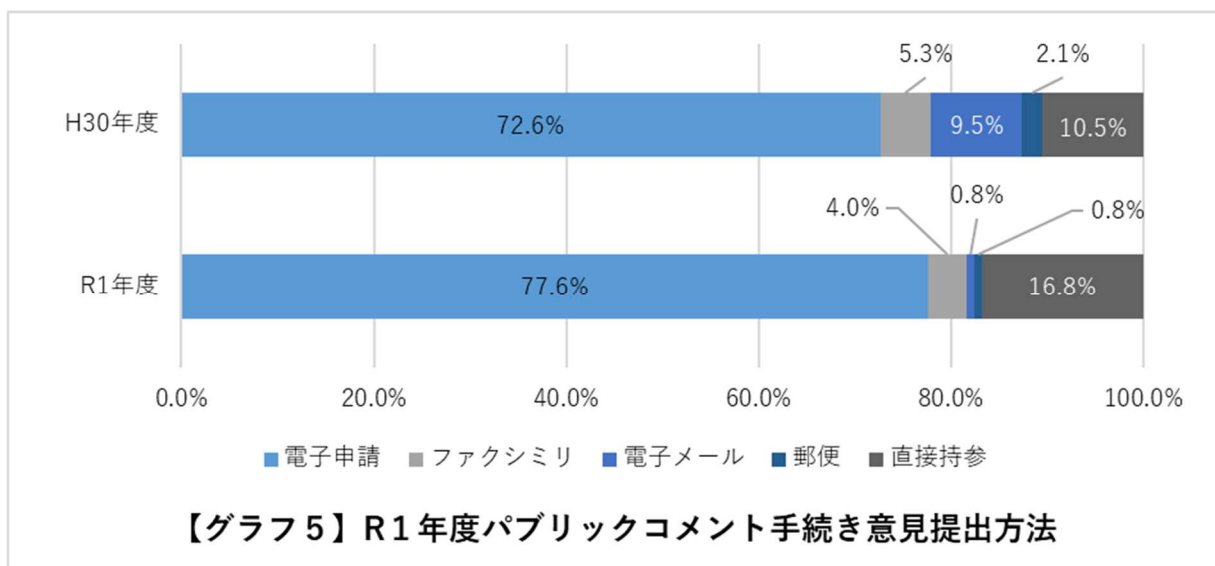
	案件名	担当課等	人数	意見数	意見による修正
1	つくば市自殺対策計画（案）	健康増進課	1人	1件	-
2	第2期つくば市子ども・子育て支援プラン（案）	こども政策課	11人	36件	○
3	つくば市公立保育所の施設改善に関する基本方針（案）	こども政策課	9人	27件	○
4	第5次つくば市きれいなまちづくり行動計画（案）	環境保全課	4人	8件	○
5	つくば市教育大綱（案）	総務課	22人	39件	○
6	つくば市未来構想改定（案）	企画経営課	6人	21件	○
7	第2期つくば市戦略プラン（案）	企画経営課	12人	42件	○
8	第2次つくば市鳥獣被害防止計画（案）	農業政策課	3人	4件	-
9	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）	環境政策課	3人	10件	-
10	第3次つくば市環境基本計画（案）	環境政策課	10人	60件	○
11	つくば市一般廃棄物処理基本計画（案）	環境衛生課	4人	6件	-
12	つくば市学校等適正配置計画（指針）改訂（案）	学務課	21人	39件	○
13	つくば中心市街地まちづくり戦略（つくば駅周辺基本方針）（案）	学園地区市街地振興室	19人	48件	○

【表2】パブリックコメント手続き意見提出方法

意見提出方法	H30年度		R1年度	
	人数（団体含む）	割合	人数（団体含む）	割合
直接持参	10人	10.5%	21人	16.8%
郵便	2人	2.1%	1人	0.8%
電子メール	9人	9.5%	1人	0.8%
ファクシミリ	5人	5.3%	5人	4.0%
電子申請	69人	72.6%	97人	77.6%
合計	95人	100.0%	125人	100.0%

※R1年度（2019年度）実施件数13件

※H30年度（2018年度）実施件数12件



### 3. 審議会等委員の市民募集

審議会等委員の市民募集に当たっては、より多くの市民が情報を得られるよう、新たに、各課等が募集を行う際の周知チラシを作成し、市役所本庁舎1階の情報コーナーに配架した。

また、応募者数が20人以上となった「自転車のまちつくば推進委員会」では、総合交通政策課作成の外部ホームページ「つくばサイクリングガイド」への募集情報掲載、同じく20人以上の応募があった「アイラブつくばまちづくり協議会」では、区会回覧による周知と市民活動課が管理するFacebook「つくば市民活動のひろば」で情報を発信するなどの工夫が行われた。

【表3】R1年度つくば市審議会等

項目	件数	備考
つくば市審議会等総数	100件	-
市民の参加が可能な審議会等数	29件	-
開催された審議会等数	63件	-
委員の改選を行った審議会等数	12件	-
市民募集を行った審議会等数	12件	うち2件は令和2年度（2020年度）開催
市民委員が参加している審議会等数	19件	-

※令和2年（2020年）3月31日時点

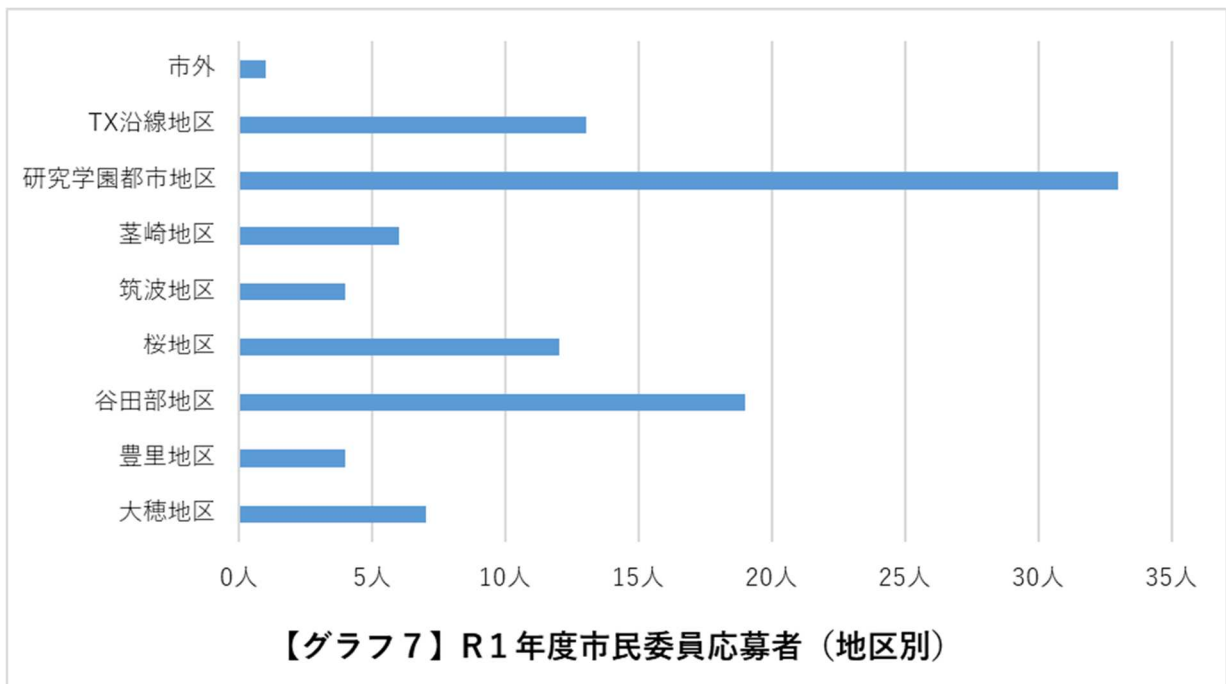
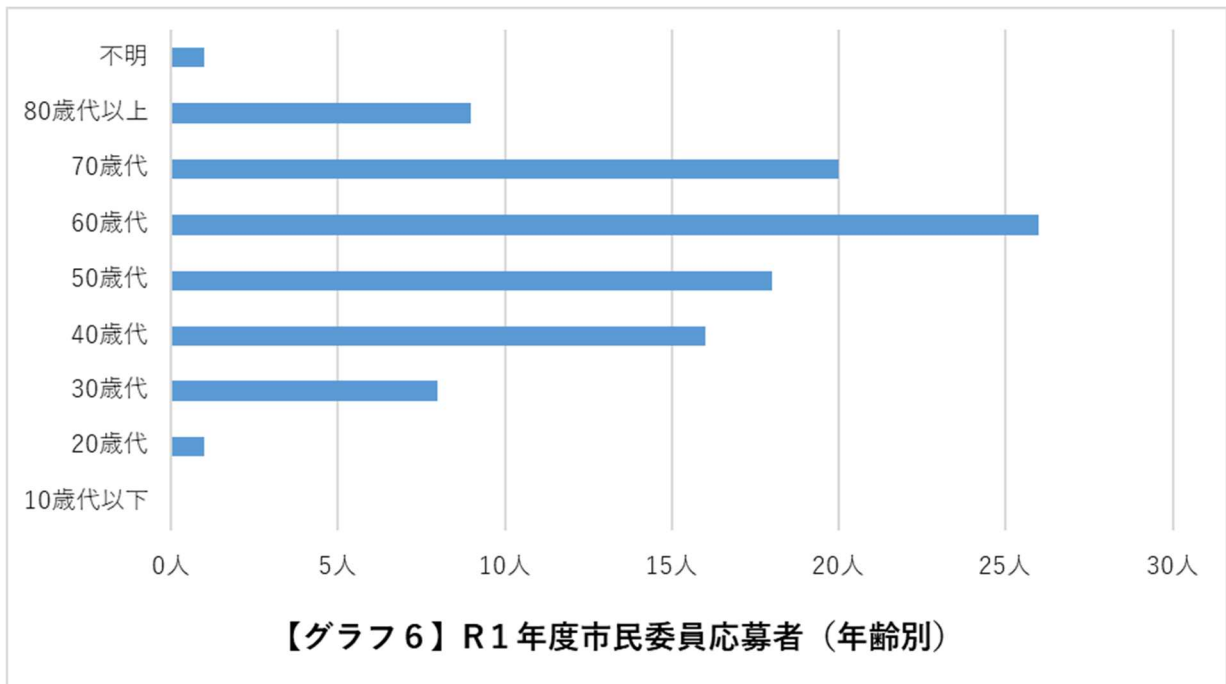


【表4】R1年度市民委員を募集した審議会等

	審議会等名称	募集人数	応募者数	応募倍率	候補者 名簿利用	任命又は 選任者数
1	つくば市行政経営懇談会	2人	8人	4.00	-	3人
2	つくば市在宅医療・介護連携推進協議会	5人	5人	1.00	-	5人
3	つくば市こども未来懇話会	2人	8人	4.00	-	2人
4	つくば市産業戦略（仮称）策定懇談会	3人	3人	1.00	-	2人
5	つくば市地域密着型サービス運営委員会	3人	2人	0.67	1人	3人
6	つくば市高齢者福祉推進会議	5人	5人	1.00	-	5人
7	自転車のまちつくば推進委員会	3人	20人	6.67	-	3人
8	第2次つくば市農業基本計画策定懇話会	3人	3人	1.00	-	3人
9	つくば市都市計画審議会	1人	4人	4.00	-	1人
10	アイラブつくばまちづくり推進委員会	6人	23人	3.83	-	6人
11	つくば市子ども・子育て会議	5人	9人	1.80	-	4人
12	つくば市地域福祉計画策定委員	5人	9人	1.80	-	4人

【表5】R1年度市民委員応募者及び任命等をされた市民の年齢層

年代	応募者				任命等をされた市民			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
10歳代以下	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
20歳代	1人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	0人
30歳代	8人	5人	3人	0人	5人	4人	1人	0人
40歳代	16人	6人	10人	0人	9人	6人	3人	0人
50歳代	18人	7人	11人	0人	9人	2人	7人	0人
60歳代	26人	18人	8人	0人	5人	3人	2人	0人
70歳代	20人	13人	7人	0人	7人	6人	1人	0人
80歳代以上	9人	7人	2人	0人	5人	3人	2人	0人
不明	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	99人	58人	41人	0人	41人	25人	16人	0人



#### 4. 審議会等に関するアンケートの実施

令和元年（2019年）1月1日から12月31日までの間に「つくば市附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに委員等候補者の登録に関する要綱」に沿って任命又は選任をされた市民委員34人を対象として、アンケートを実施した。

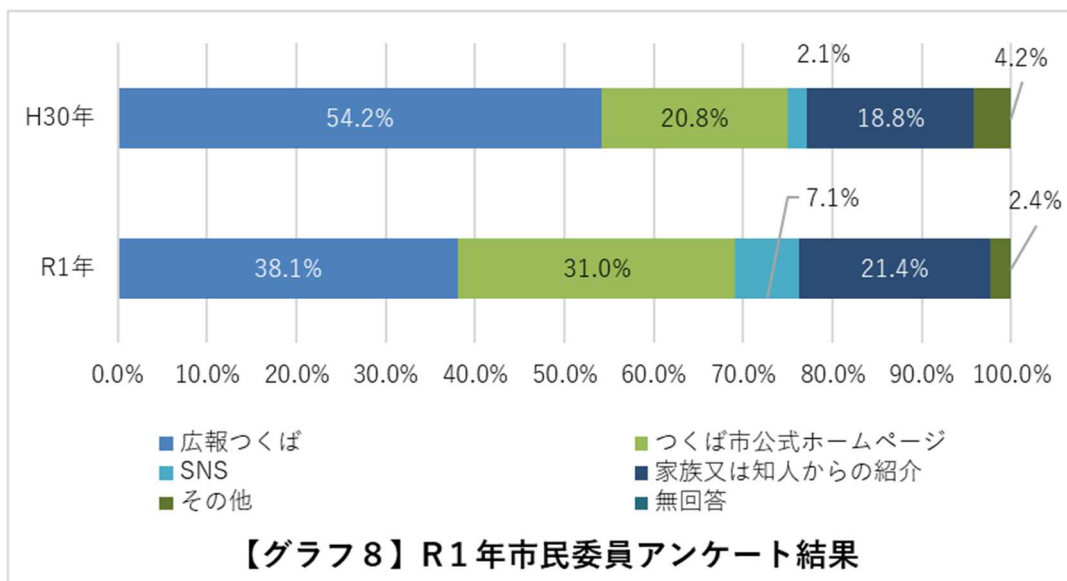
市民委員応募者の募集情報入手手段としては、昨年度に引き続き広報つくばの利用率が最多ではあるが、つくば市公式ホームページやSNSの利用率も増加していることがわかる。

また、審議会等で「自分の意見を十分言うことができた」、「言うことができた」と回答した人

の割合は86.7%であり、昨年度の結果から8.4%減少しているほか、新たに設けた「自身の意見が市の計画の策定や評価等に反映されたと思うか。」という問いについては、「反映されたと思う」、「まだ審議中だが、意見は取り入れられていると思う」という回答がある一方で、「わからない」と回答された割合も高い結果となった。

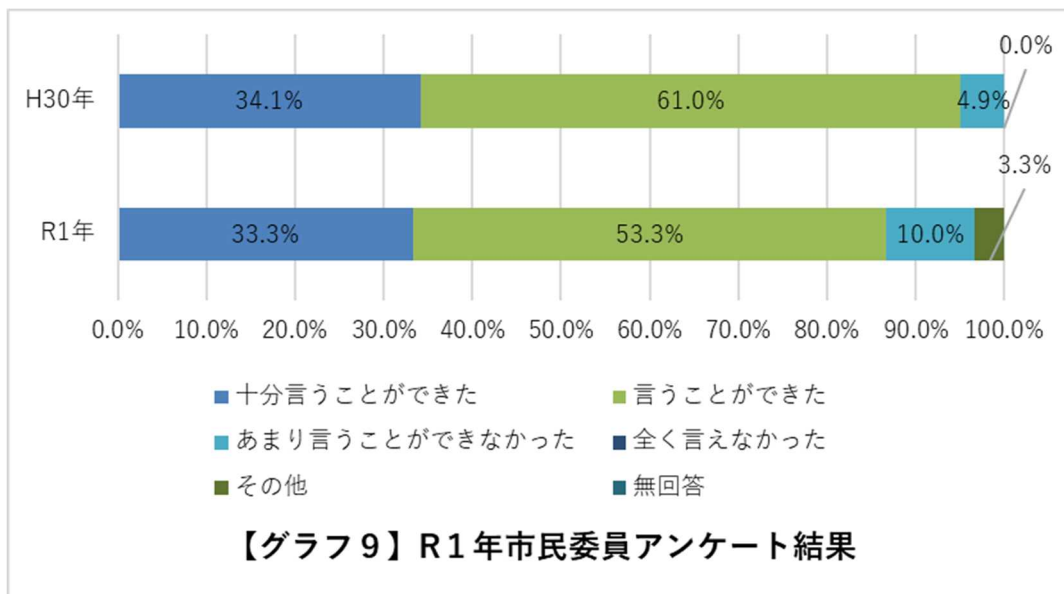
**【表6】 市民委員アンケート結果**

問2 市民委員の募集について、次のうちどれで知りましたか。				
選択肢	H30年		R1年	
	回答数	構成比	回答数	構成比
広報つくば	26人	54.2%	16人	38.1%
つくば市公式ホームページ	10人	20.8%	13人	31.0%
SNS	1人	2.1%	3人	7.1%
家族又は知人からの紹介	9人	18.8%	9人	21.4%
その他	2人	4.2%	1人	2.4%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%
全体	48人	100.0%	42人	100.0%



【表7】市民委員アンケート結果

問5 ご自身の意見や質問などを発現することはできましたか。				
選択肢	H30年		R1年	
	回答数	構成比	回答数	構成比
十分言うことができた	14人	34.1%	10人	33.3%
言うことができた	25人	61.0%	16人	53.3%
あまり言うことができなかった	2人	4.9%	3人	10.0%
全く言えなかった	0人	0.0%	0人	0.0%
その他	0人	0.0%	1人	3.3%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	41人	100.0%	30人	100.0%



## 5. 市民委員意見交換会の開催

平成29年度つくば市行政経営懇談会において市民参加に関する指針及び要綱の策定にかかわった当時の市民委員4人と平成30年度に市の審議会等の委員として任命又は選任をされた市民委員57人を対象として、令和2年（2020年）3月1日に市民委員意見交換会を開催した。

意見交換会では、指針及び要綱と平成30年度市民参加取組結果の紹介のほか、「市政への市民参加をよりよくするには？」というテーマでのグループワークに加え、参加者同士の意見交換を行った。

意見交換会には15人が参加し、参加者からは「会合など、顔を合わせることは重要なので良かったと思う。」「グループディスカッションに職員も入ってくれ、自由に意見を交わせて、識見が広がった。」「様々な委員の話を聞くことができて良い機会だった。」等の好意的な意見が寄せられた一方で、「時間が足りなかった。」「参加した委員から平等に意見を求めてほしい。」「意見交換会に各審議会の担当者も参加できるといい。」等の改善を求める意見も寄せられた。

### III 成果

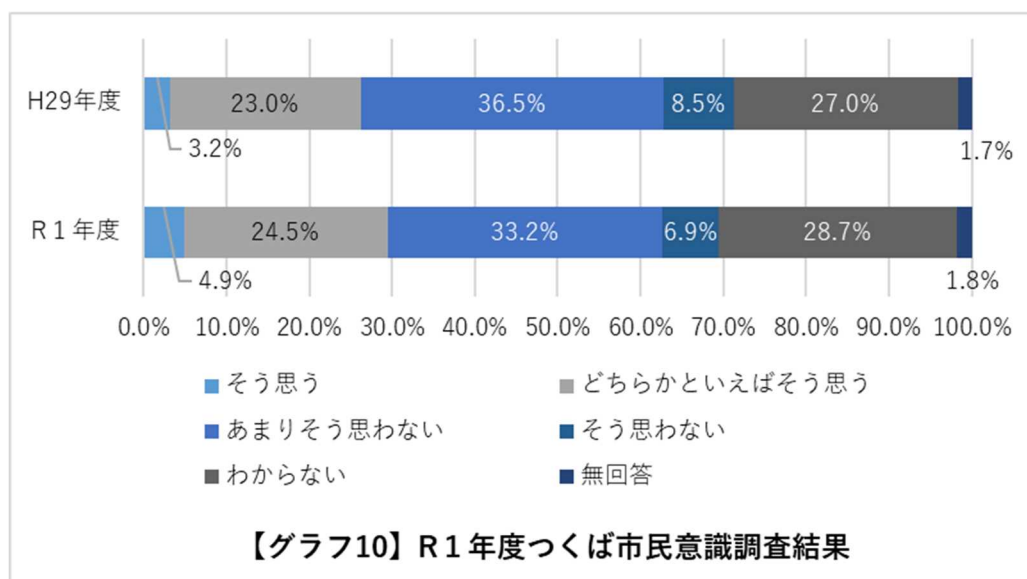
市民委員の募集が可能な審議会等のうち令和元年度（2019年度）が委員等の改選時期に当たる全ての審議会等で市民委員の公募を行い、市長公約事業のロードマップにおけるKPI「要綱に基づき、市民委員の任命、選任を規定している附属機関及び懇談会等のうち、実際に市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合を100%にする」を達成した。

また、市民委員意見交換会では、参加した市民委員経験者から市民参加の取組に関する良い点と改善点等について多様な意見を聞くことができた。

さらに、「令和元年度つくば市民意識調査」において、市政に市民が参加できる環境が整っていると思うか聞いたところ、前回の平成29年度調査と比較して「そう思う」が1.7%、「どちらかといえばそう思う」が1.5%増加する結果となり、市民参加推進の取組の効果が得られていると考えられる。

【表8】R1年度つくば市民意識調査結果

問14 あなたは、つくば市には、市民が市政に参加できる環境が整っていると思いますか。				
選択肢	H29年度		R1年度	
	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	43人	3.2%	73人	4.9%
どちらかといえばそう思う	310人	23.0%	363人	24.5%
あまりそう思わない	492人	36.5%	491人	33.2%
そう思わない	115人	8.5%	102人	6.9%
わからない	364人	27.0%	425人	28.7%
無回答	23人	1.7%	27人	1.8%
全体	1,347人	100.0%	1,481人	100.0%



#### IV 課題

「令和元年度つくば市民意識調査」では、市政に市民が参加できる環境が整っていると思う人の割合が増加した一方で、「わからない」又は「無回答」を選択した人の割合も増加している。

審議会等については、参加者アンケートにおいて、回答者の1割が会議中にあまり発言することができなかったと回答しているほか、委員経験者から審議会において自分の意見が反映されたのか、反映されていないのかわからないという意見が挙げられている。また、公募による市民委員募集の際、募集人数に応募者が満たない審議会等があるほか、応募者年齢層に偏りが見られる。

さらに、市民委員意見交換会において、提示される資料の専門用語がわかりにくいという点、逐語の会議録が読みにくいという点が改善を求める意見として挙げられている。

#### V 今後の取組（課題に対する対応）

「令和元年度つくば市民意識調査」の結果から、市民参加の取組に関する市民への周知は十分ではないと判断される。市民参加の取組への認知度を高めるとともに、市政に関心を持っている人にとって参加のハードルを下げるような取組や手法を検討する。

審議会等においては、関連施設等での募集チラシの設置を検討する。また、市の会議に参加するという点について、他の手法よりも敷居が高く感じている人が多い可能性があることから、経験者の声等を積極的に公表することで、誰でも参加することができるということを周知する。

会議録については、つくば市の規則で公開用の会議録を逐語で作成するよう定められているが、会議公開を担当する部署との連携、調整を進め、読みやすい会議録の作成につなげていく。

市民参加推進に関する取組の課題

I つくば市市民参加取組状況から見える課題

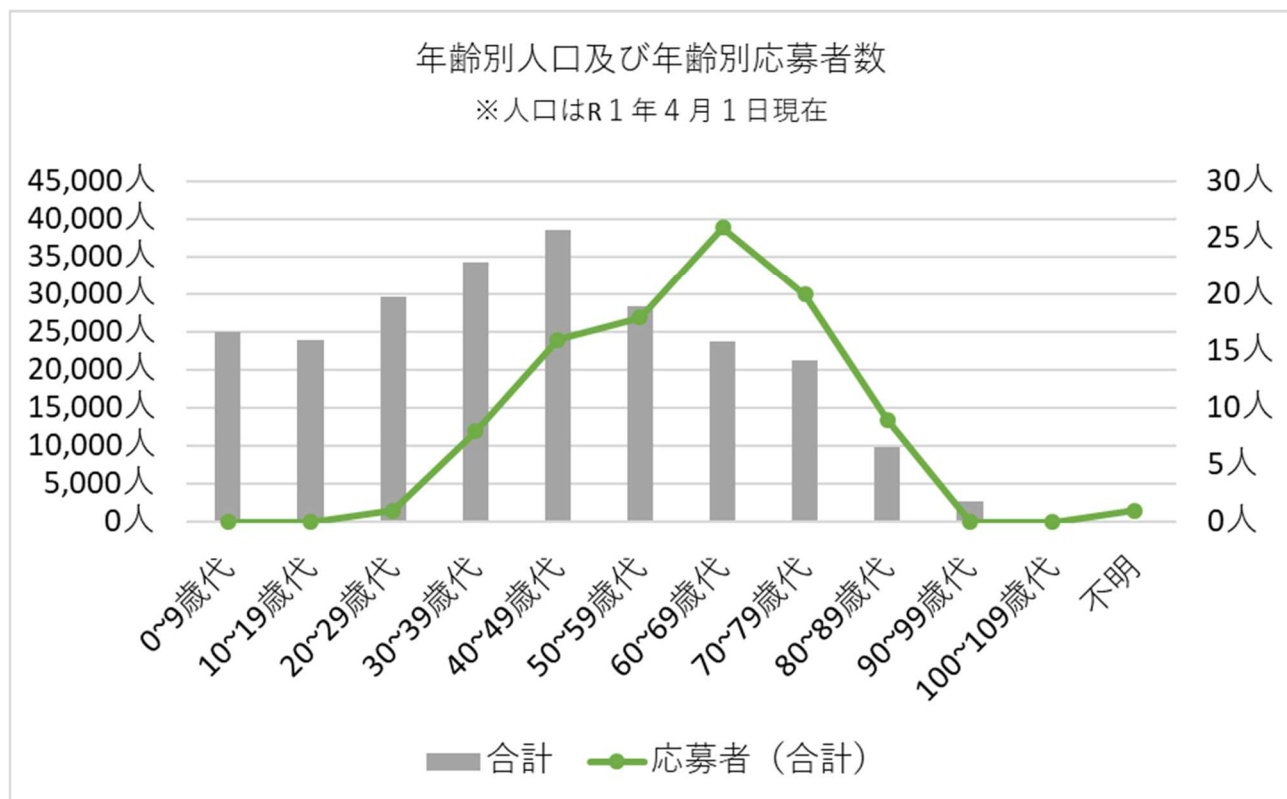
1. 申込者の年齢層について

令和2年（2020年）4月1日現在のつくば市年齢別人口統計（住民基本台帳人口）の結果から、つくば市の特徴として、20歳代（20歳代前半の学生層を多く含む）から40歳代までの人口が多いことがわかる。

しかし、令和元年度（2019年度）の市民参加の取組状況を見ると、審議会等委員の市民募集に対する応募者は60歳代から70歳代までが最多となっており、市の人口割合からすると、20歳代から40歳代の参加は少ない。

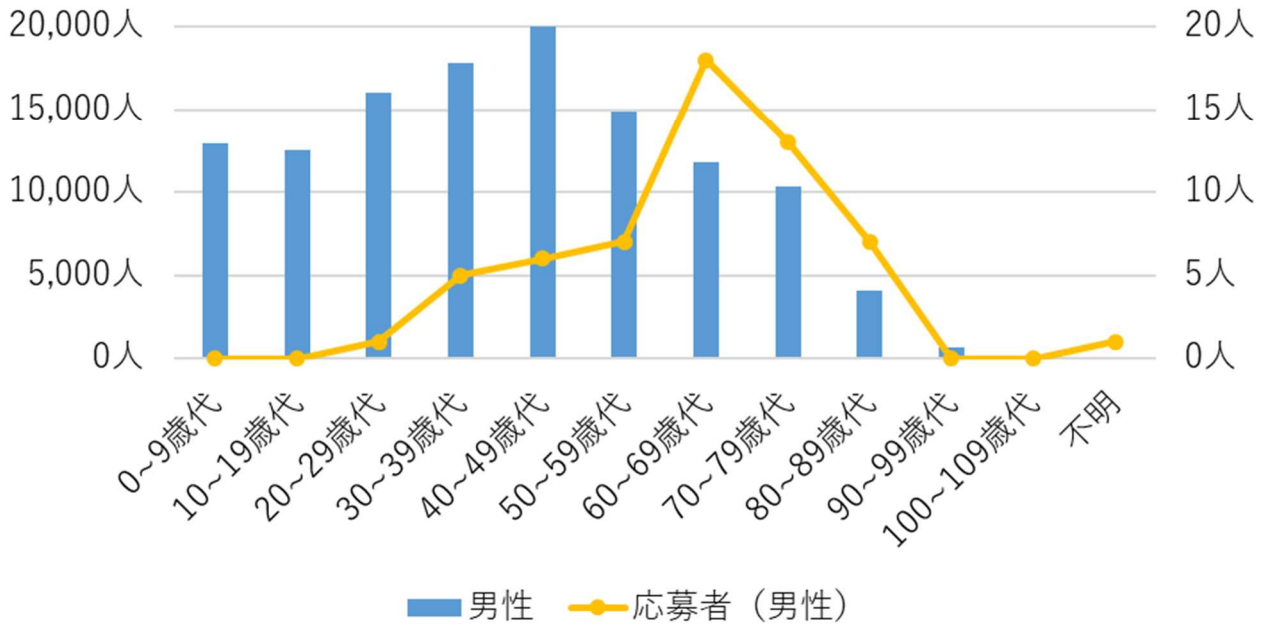
一方で、平成30年度に実施した未来構想等策定ワークショップでは40歳代の申込みが最多であったことから、市民参加の手法によっては、20歳代から50歳代の参加も多く見込めると考えられる開催日時がハードルとなっていることも考えられる。

また、令和元年度（2019年度）つくば市民意識調査において「つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思うか」尋ねたところ、20歳代から40歳代までは他の年代と比べて「わからない」の回答割合が高かったほか、「市政に対する自分の意見等を市に伝えたことがあるか」という質問については、「市に伝えたい意見がない」の回答割合が上位という結果となっている。



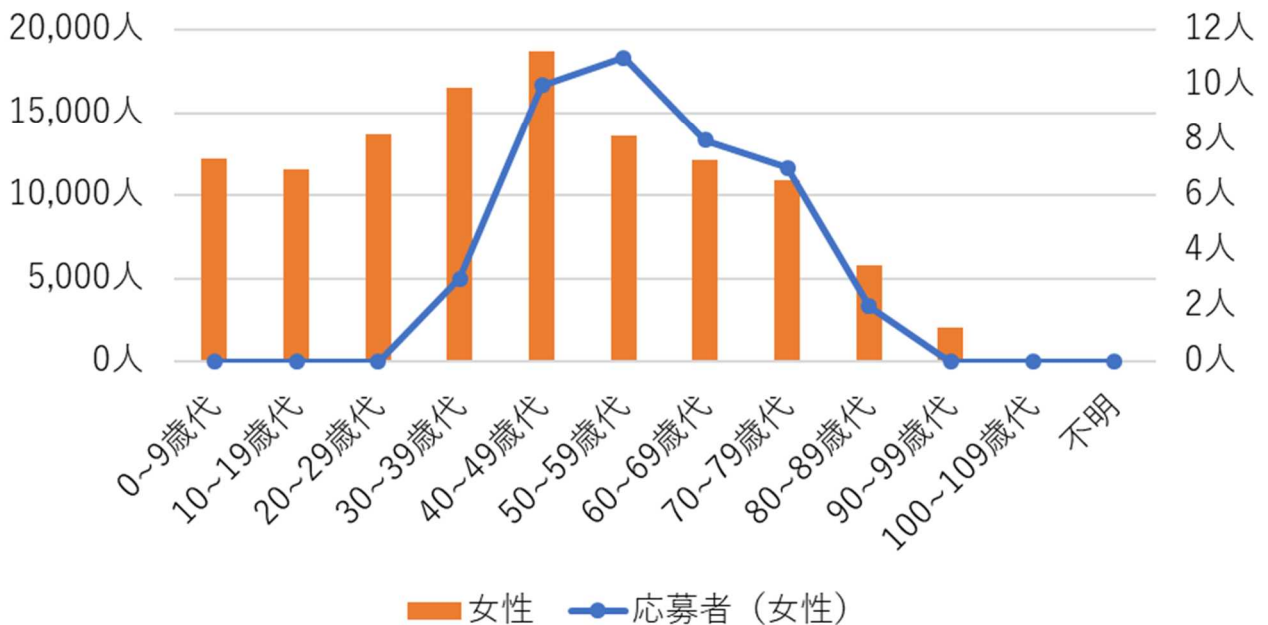
### 年齢別人口及び年齢別応募者数（男性）

※人口はR1年4月1日現在



### 年齢別人口及び年齢別応募者数（女性）

※人口はR1年4月1日現在





## 2. 審議会等の応募者数について

審議会等の市民募集の応募者については、応募倍率が4倍以上となる審議会がある一方で、応募者数が募集人数に満たなかった審議会もある。

応募者数が募集人数に満たなかった、又は応募倍率が低かった審議会等は、医療・介護や産業、農業に関する案件を扱うものであることから、審議会等に関心を持つ市民が限定された可能性がある。また、審議会等の名称から専門的な印象を受けた可能性も考えられる。

## 3. 無作為抽出による委員等候補者名簿の活用について

無作為抽出による委員等候補者名簿とは、住民基本台帳から無作為に抽出した1,000人に審議会等の市民委員の候補者として名簿登録を依頼する文書を送付し、その中から名簿への登録に同意いただいた方の連絡先等を登録しているものである。住民基本台帳からの無作為抽出は2年に1度実施し、名簿への登録期間は2年間であり、現在の名簿は令和2年（2020年）6月1日から令和4年（2022年）5月31日まで利用される。

無作為抽出には、参加者の固定化を避け、これまで市と接点の少なかった人の参加につながるという利点があり、市で審議会等の委員に有識者や学識経験者等以外の市民を任命等する際は、公募による選考または、委員等候補者名簿の登録者への就任依頼を行うこととなっている。

令和元年度（2019年度）は1件の審議会等で応募者数が募集人数を満たさなかったことから名簿が利用され、1人が市民委員として就任している。なお、平成30年（2018年）6月から令和2年（2020年）5月までの期間で登録された委員等候補者102人のうち市民委員就任は2人であり、どちらもファーストチョイスとして利用されていない。

O	P	Q	R	S	T	U	X
通称	連絡先（自宅）	連絡先（携帯用）	メールアドレス	第一	第二	第三	分野：8（その他）の詳細
				6	3	記入なし	
				4	8	5	イベントの企画
<b>「無作為抽出による委員等候補者名簿」管理画面②</b> ※個人情報は消しています。							
				5	3	4	
				7	2	5	

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	N
	宛名	郵便	住所	方角	氏名カナ	氏名漢字	生年月	年齢	性		
1									70歳	男	日本人
2	783								36歳	女	日本人
3	420								40歳	男	日本人
4	800								34歳	女	日本人
5	803								54歳	男	日本人
6	393								44歳	男	日本人
7	439								52歳	女	日本人
8	867										
<b>「無作為抽出による委員等候補者名簿」管理画面①</b> ※個人情報は消しています。											

#### 4. 市民参加に関するアンケートの実施結果

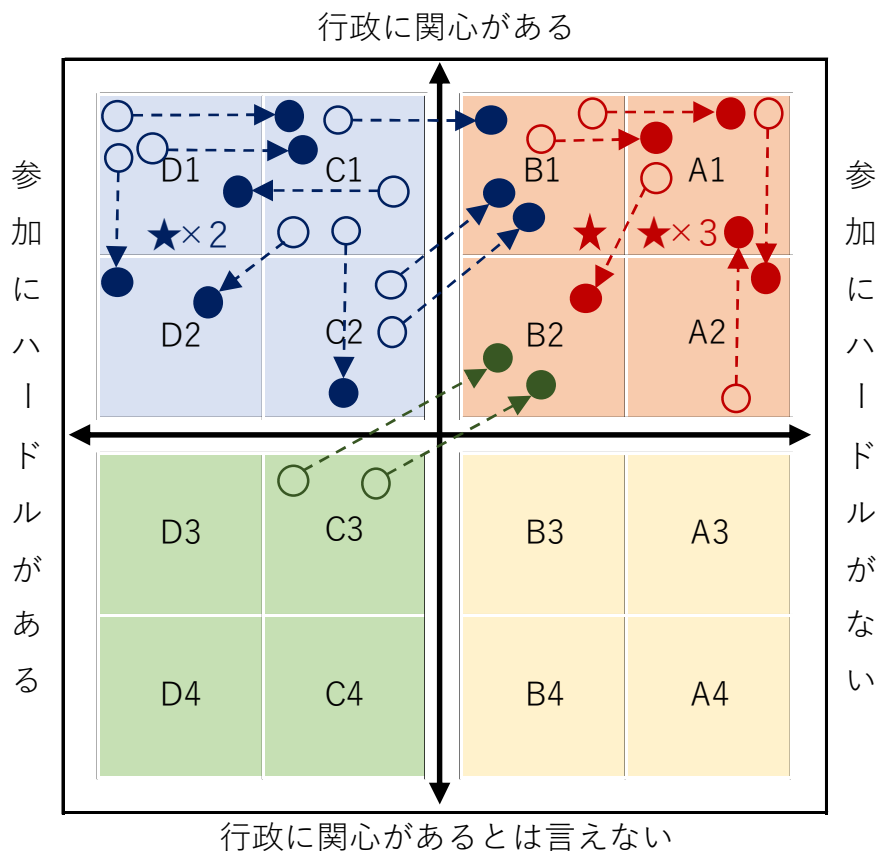
調査方法や対象等については、以下のとおり。

調査期間：令和2年（2020年）11月2日（月）から9日（月）まで
調査対象：つくば市未来構想ワークショップ参加者
つくば市未来構想等審議会市民委員
令和元年度（2019年度）つくば市行政経営懇談会市民委員
令和元年度（2019年度）市民委員意見交換会申込者
調査方法：電子メールにて回答フォームのURLを送付
パソコン又はスマートフォン等により、いばらき電子申請から回答
回収状況：送付人数…50人
回答人数…22人（回答割合…44.0%）

#### 行政への関心と参加のハードルの変化

- → 市の意見募集に参加する前
- → 市の意見募集に参加した後
- ★ → 参加前と後で変化がなかったもの

【図1】



※「A1」、「A2」等各枠内での記号の配置はアンケート結果によらない。

◆アンケート結果の他に、参加のハードルとなっていると考えられるもの

- ・アンケート等の質問数が多い
- ・アンケート等の内容が難しい（答えにくい質問がある）
- ・時間がない
- ・人間関係がわずらわしい
- ・活動がわずらわしい

※出典：令和元年度つくば市民意識調査結果

【問 23】防災活動に参加しない理由

【項目 12】自由意見

# 令和元年度（2019年度）市民委員意見交換会

日 時：令和2年3月1日（日）午前10時から  
場 所：つくば市役所コミュニティ棟1階会議室

## 次 第

- 1 開会
- 2 ガイダンス
  - (1) つくば市の「市民参加」ってなんだろう？
  - (2) 2018年度市民参加の取組紹介
- 3 グループワーク
- 4 意見交換
- 5 閉会

## 配布資料

- |        |  |
|--------|--|
| 資料 1   | 令和元年度（2019年度）市民委員意見交換会（スライド資料）                   |
| 資料 2   | グループワーク 「市政への市民参加をよりよくするには？」                     |
| 参考資料 1 | つくば市市民参加推進に関する指針                                 |
| 参考資料 2 | つくば市附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに<br>委員等候補者の登録に関する要綱 |

# 令和元年度（2019年度） 市民委員意見交換会

令和2年（2020年）3月1日（日）

10時00分～12時00分

つくば市役所コミュニティ棟1階 会議室

## はじめに

### 市民参加

市民参加は市が直面する諸課題を乗り越えていくための手段の一つ

### 意見交換会開催の目的

- ・ 審議会等の市民委員につくば市の市民参加推進の取組について知ってもらう機会をつくる。
- ・ 市は、意見交換会で出された市民参加推進に関する意見を各事業で市民参加の取組を進める際にいかす。

## はじめに

### 本日の流れ

- 1 開会
- 2 ガイダンス（つくば市民参加推進の取組）  
（1）つくば市の「市民参加」ってなんだろう？  
（2）平成30年度市民参加推進の活動結果紹介
- 3 グループワーク
- 4 意見交換
- 5 閉会

## つくば市の「市民参加」ってなんだろう？

### 「市民参加」の「市民」って誰のこと？

- ・ 市民に在住している個人
- ・ 市内に在勤、在学する個人
- ・ 行政以外の市内を拠点とする法人、団体、組織

### つくば市の「市民参加」ってなに？

市民が直接的に市政に参加すること。

## つくば市市民参加推進の取組



### 平成29年度つくば市行政経営懇談会

開催期間 … 2017年5月～2018年3月  
委員 … 12人（有識者8人、公募市民4人）

### 指針と要綱の策定

市民参加推進に関する指針と市民委員の募集等に関する要綱を策定

## つくば市市民参加推進に関する指針

### 指針の目的

市民参加の推進に関する基本的な考え方や、今後実施すべき取組を示し、市政への市民参加を推進していく。

### 基本的な考え方

- ・ 情報の積極的な発信
- ・ 市民意見の積極的な反映
- ・ 参加しやすい環境づくり

## つくば市附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに委員等候補者の登録に関する要綱

### 要綱の目的

広く市民の意見等を行政に反映させる。

### 市民委員の割合や併任等について

- ・ 委員に占める市民委員の割合はおおむね3割を目途とする。
- ・ 市民委員の再任は2期または連続する2か年度まで。
- ・ 市民委員の兼務は2つまで。

## 2018年度の市民参加の取組

### 実施回数が多かった取組

- |   |                   |   |     |
|---|-------------------|---|-----|
| 1 | アンケート調査           | … | 24件 |
| 2 | 審議会等<br>公聴会、住民説明会 | … | 17件 |
| 3 | 出前講座              | … | 16件 |

## 2018年度の市民参加の取組

### パブリックコメント手続き実施結果（参加人数順）

条例や計画等の名前	人数	意見
つくば中心市街地まちづくりビジョン（案）	36人	120件
つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例（案）	16人	37件
つくば市立地的成果計画（案）	12人	53件
つくば市スポーツ推進計画中間年度見直し版	3人	11件
つくば市文化財保存活用計画（案）	1人	2件
つくば市文化芸術振興基本計画（案）	0人	11件
つくば市文化芸術振興基本条例の一部を改正する条例（案）	0人	0件

## 2018年度の市民参加の取組

### 審議会等の市民委員の公募結果（応募人数順）

審議会等の名前	募集人数	応募人数
つくば市未来構想等審議会	7人	22人
つくば市行政経営懇談会	4人	20人
アイラブつくばまちづくり推進委員会	6人	13人
つくば市文化財保存活用計画策定懇談会	2人	4人
つくば市指定管理者候補者選定検討会議	2人	4人
つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定懇談会	2人程度	4人
つくば市歴史公文書評価選別基準策定検討会	1人	1人

## 2018年度の市民参加の取組

### 審議会等の市民委員の人数（年齢別）

10代 … 0人	20代 … 4人
30代 … 6人	40代 … 9人
50代 … 12人	60代 … 23人
70代 … 8人	80代 … 0人
90代 … 1人	<b>合計 … 63人</b>

## 2018年度の市民参加の取組 ～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 調査期間

2018年11月28日～12月10日

### 調査対象

2018年度に「つくば市附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに委員当候補者の登録に関する要綱」に沿って任命又は選任をされ、会議に参加した市民委員55人

## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 調査期間

郵送配布・回収

### 調査対象

発送数：55人

回答数：41人

回答率：74.5%

## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 1. 市民委員の募集について、以下のうちどれで知りましたか。

選択肢	回答数 (人)	構成比
広報つくば	26	54.2%
つくば市公式ホームページ	10	20.8%
SNS	1	2.1%
家族又は知人からの紹介	9	18.8%
その他	2	4.2%
無回答	0	0.0%
全体	48	100.0%

#### 関連する自由意見

募集に関しては、関連するイベントや施設等での周知を積極的かつ丁寧に行うといい。

## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 2. 審議会の雰囲気はいかがでしたか。

選択肢	回答数 (人)	構成比
よかった	25	61.0%
どちらかというとよかった	15	36.6%
あまりよくなかった	1	2.4%
悪かった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	41	100.0%

#### 関連する自由意見

市民委員と有識者との間に距離を感じた、“オマケ”感が強い気がした。

委員同士での話の深まりは、なく、形式的なものだった。

## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 3. 審議内容は難しくありませんでしたか。

選択肢	回答数 (人)	構成比
難しくなかった	22	53.7%
あまり難しくなかった	15	36.6%
やや難しかった	4	9.8%
難しく、審議内容がよくわからなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	41	100.0%

#### 関連する自由意見

事業の内容があまりにも多く、事業の内容を深く理解できない時もあった。

有識者の意見もとても興味深く、進行の委員の力量もあり、毎回会議が楽しかった。



## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 4. ご自身の意見を言うことができましたか。

選択肢	回答数 (人)	構成比
十分意見を言うことができました	14	34.1%
意見を言うことができました	25	61.0%
あまり意見を言うことができなかった	2	4.9%
意見を全く言えなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	41	100.0%

#### 関連する自由意見

もう少し時間をかけて意見交換、議論ができるといいかと思う。

適切な人選によるものか、活発な意見交換ができ、新たな計画等にもそれが反映されたと考えている。

## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 5. 審議会の開催日時・会場はどうでしたか。

選択肢	回答数 (人)	構成比
適当だった	39	95.1%
適当ではなかった	1	2.4%
無回答	1	2.4%
全体	41	100.0%

#### 関連する自由意見

座長の日程ありきで、それに限定されすぎている。

日程の事前調整をしてほしい。

午前中または夕方の開催にしてほしい。  
土日開催をしてほしい。

## 2018年度の市民参加の取組

～市政への市民参加に関するアンケート調査結果～

### 6. さらに市民参加を進めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。(意見の一部)

#### 広報

- ・関心の高い市民の参加しやすさ向上
- ・関心が低い、知らない市民へのアプローチを拡充する。

#### 意見の反映

- ・市民の意見によって改善されたことをアピールする。

#### 開催場所

- ・自宅のパソコンを使用したWeb会議の開催
- ・審議会等の土日開催を検討する。

#### 実施手法

- ・テーマによっては、これまでの会議のあり方を見直すことも必要。
- ・市民と実際に事業を担当する職員が意見交換する場を設ける。

## グループワーク

市として必要なことは？

この取組はよかったです

会議って緊張する

市の事業ってよくわからない

### 「市政への市民参加をよりよくするには？」

気になるけど時間がない……

市政にもっと関心を持ってほしい！

市民として何ができる？

## グループワーク

テーマ：市政への市民参加をよりよくするには？

### グループワークの流れ

- 1 自己紹介（10分程度）
- 2 それぞれ意見を出し合います（30分程度）
- 3 意見の整理、確認（5分程度）  
発表の準備
- 4 発表（10分程度）

## 意見交換

### 「つくば市の市民参加推進について」

#### 【例えば……】

- ・委員として審議会に参加した感想
- ・あのワークショップは楽しかった！
- ・こうすればもっと市民参加が進むと思う！
- ・今日の意見交換会、ここがよかった！
- ・今日の意見交換会、ここは改善したほうがいい！

## おわりに

### 本日の活動について

意見交換会の様子は、後日、市ホームページや広報つくばでお知らせします。

### アンケートにご協力ください

本日の意見交換会について、アンケートのご協力をお願いします。

# 「市政への市民参加をよりよくするには？」

グループワークの進め方

## ① 自己紹介（10分程度）

- ・グループ内で順番に自己紹介をします。  
名前、参加した審議会等  
審議会に参加して良かったこと、大変だったこと

## ② グループワーク（30分程度）

- ・市政への市民参加について、良い点と改善点を出し合います。
- ・良い点  
ここは継続してほしい → どうすればより良くなる？
- ・課題点  
ここは改善してほしい → どうすれば改善される？

## ③ グループ内で確認（5分程度）

- ・意見を整理したものをグループ全員で確認し、共有します。  
追加の意見があれば、このときに伝えてください。
- ・最後にグループ内で検討された内容の発表を行いますので、  
発表者を決めてください。
- ・追加意見を含めて意見の整理を行い、発表できるように内容を  
確認します。

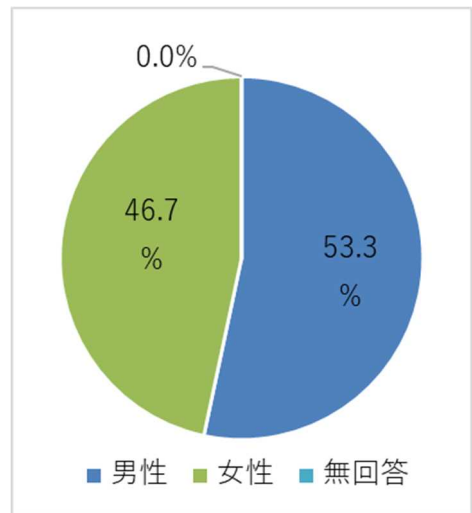
## ④ 発表（10分程度 各グループ3分程度）

令和元年度（2019年度）市民委員意見交換会 参加者アンケート集計結果

開催日	： 令和2年（2020年）3月1日（日）
時間	： 10時から12時まで
場所	： つくば市役所コミュニティ棟会議室1
参加者数	： 15人
回答者数	： 15人
回答率	： 100%

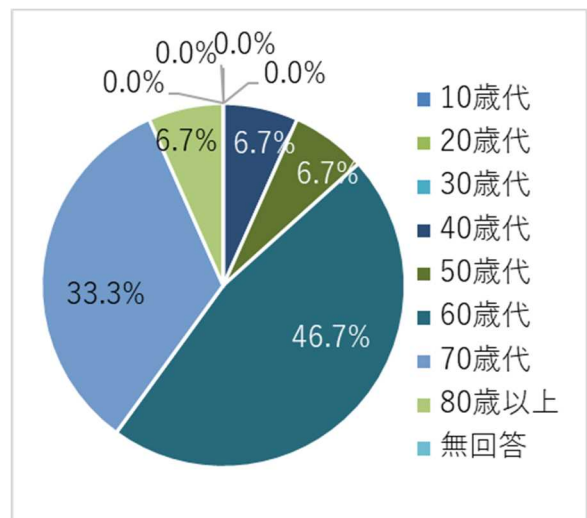
問1 あなたの性別を教えてください。いずれにも当てはまらないと考える場合は  
 ✓印をつけなくても差し支えありません。 [✓は一つ]

	人数	割合
男性	8人	53.3%
女性	7人	46.7%
無回答	0人	0.0%
合計	15人	100.0%



問2 あなたの年齢を教えてください。 [✓は一つ]

	人数	割合
10歳代	0人	0.0%
20歳代	0人	0.0%
30歳代	0人	0.0%
40歳代	1人	6.7%
50歳代	1人	6.7%
60歳代	7人	46.7%
70歳代	5人	33.3%
80歳以上	1人	6.7%
無回答	0人	0.0%
合計	15人	100.0%



問3 あなたのお住まいを教えてください。

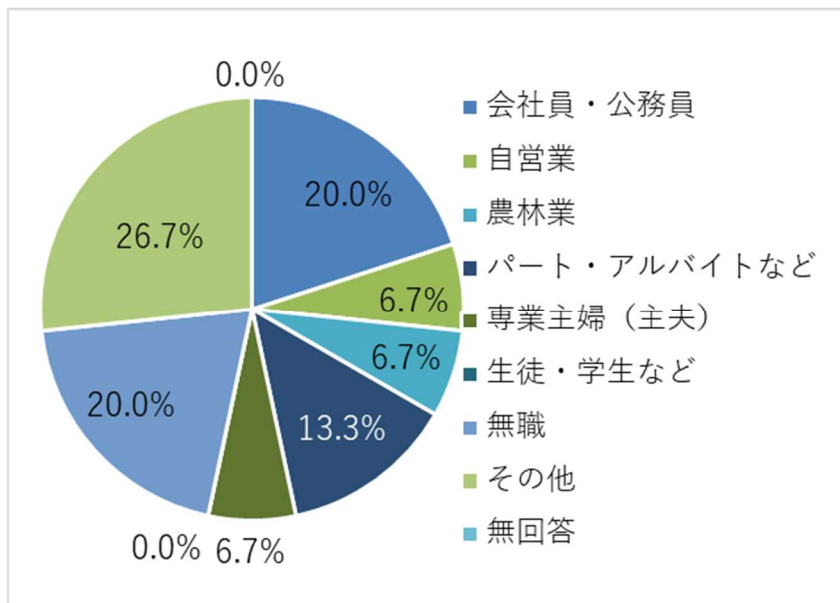
〔✓は一つ〕

	人数	割合
市内	15人	100.0%
市外	0人	0.0%
無回答	0人	0.0%
合計	15人	100.0%

問4 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。

〔✓は一つ〕

	人数	割合
会社員・公務員	3人	20.0%
自営業	1人	6.7%
農林業	1人	6.7%
パート・アルバイトなど	2人	13.3%
専業主婦（主夫）	1人	6.7%
生徒・学生など	0人	0.0%
無職	3人	20.0%
その他	4人	26.7%
無回答	0人	0.0%
合計	15人	100.0%

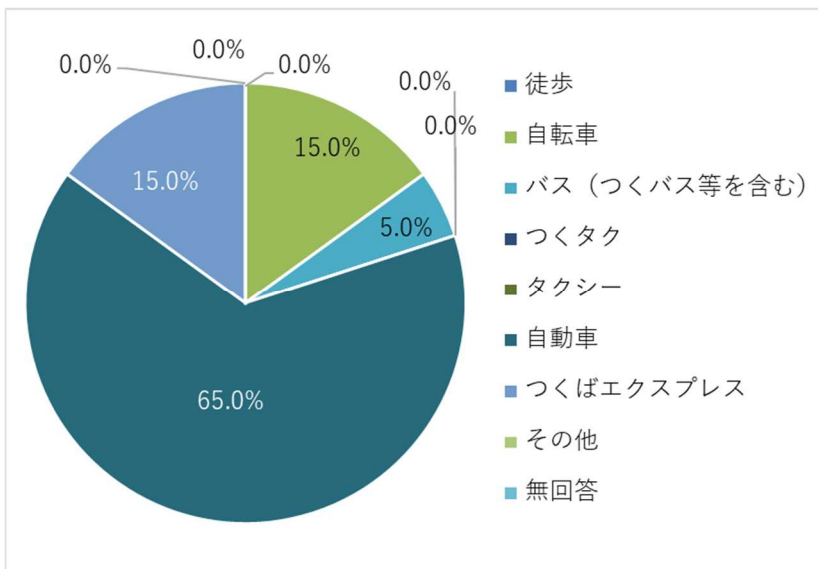


※その他 … 福祉専門学校教員、NPO 法人代表、団体職員

問5 会場まで、どの交通手段を利用しましたか。

〔✓は一つ〕

	回答数	割合
徒歩	0人	0.0%
自転車	3人	15.0%
バス（つくバス等を含む）	1人	5.0%
つくタク	0人	0.0%
タクシー	0人	0.0%
自動車	13人	65.0%
つくばエクスプレス	3人	15.0%
その他	0人	0.0%
無回答	0人	0.0%
合計	20人	100.0%



問6 職員の説明はわかりやすかったですか。

〔✓は一つ〕

	人数	割合
とてもわかりやすかった	5人	33.3%
わかりやすかった	8人	53.3%
少し難しかった	1人	6.7%
難しく、内容がよくわからなかった	0人	0.0%
無回答	1人	6.7%
合計	15人	100.0%

問7 市民委員意見交換会の開催日時・会場はどうでしたか。 (✓は一つ)

	人数	割合
適当であった	12人	80.0%
適当でなかった	0人	0.0%
無回答	3人	20.0%
合計	15人	100.0%

問8 市民委員意見交換会に参加した感想等があれば、ご自由にお書きください。

【意見要約】

<p>会合など、顔を合わせることは重要なので良かったと思う。</p>
<p>今回の機会（企画）の成果を期待している。</p>
<p>意見交換会に各審議会の担当者も参加できるといい。</p>
<p>もっと多くの市民委員が参加すると思っていた。関心が低いのだろうか。</p>
<p>時間が足りなかった。</p>
<p>名札に経験した懇談会等の名称も記せばよかった。</p>
<p>参加者名簿等一覧表を配ればよかった。</p>
<p>長い時間はかかるが、市民に関心を持ってもらうためにも、担当職員による学校への出前教室などを計画するといいいのでは。</p>
<p>参加した委員から平等に意見を求めてほしい。時間調整も検討する必要がある。</p>
<p>会議時にタブレット等の通信機器を使用しないように注意してほしい。</p>
<p>様々な委員の話を聞くことができ、良い機会だった。</p>
<p>具体的な市民参加の良案がないが、市民参加経験のコラムなども良いかもしれない。</p>
<p>休日出勤になる職員と土日や夜が都合良い市民など難しい所もあるが、方法が出るとうれしい。</p>
<p>これも勉強になった。</p>
<p>様々な意見が聞けて良かった。</p>
<p>”未来へ向けて”とても大切なことなので、小学校から取り入れてもらえると良い。</p>
<p>新しい取組み、時間・労力をかける事は大変だろうが、今後も開催することはとても良い事と思う。</p>
<p>グループディスカッションに職員の方も入ってくれ、自由に意見を交わせて、識見が広がった。少しでも行動すると得る物がある。</p>

令和元年度（2019年度）市民委員アンケート 集計結果

調査期間：	令和2年（2020年）1月14日から2月7日まで
調査対象：	令和元年（2019年）1月1日から12月31日までの間に「つくば市 附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに委員等候補 者の登録に関する要綱」に沿って任命又は選任をされた市民委員34人
調査方法：	郵送配布・回収
回収状況：	発送数…34枚 回収数…27枚（回収率…79.4%）

問1 令和元年（2019年）に参加した又は参加している審議会等を次のうちから  
選んでください。〔当てはまるもの全てに✓〕

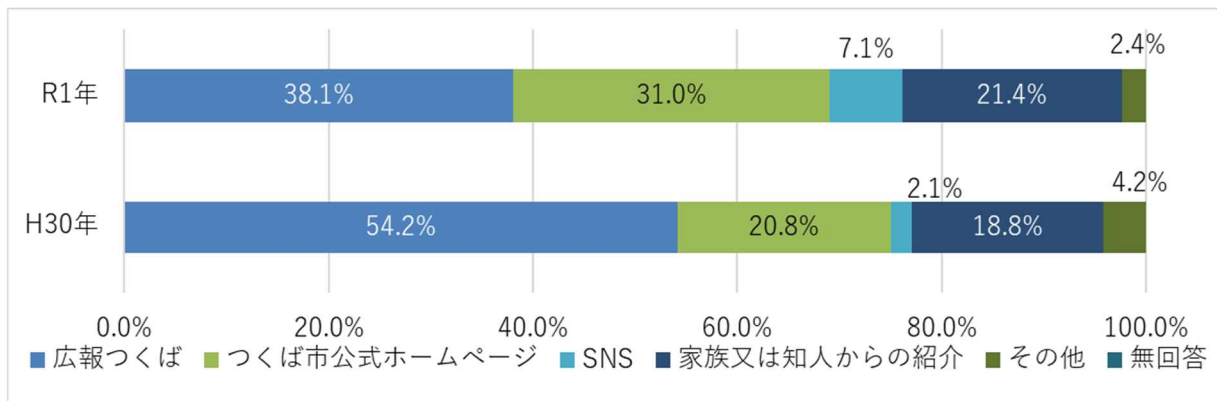
選択肢	回答数	構成比
アイラブつくばまちづくり推進委員会	6人	20.0%
つくば市行政経営懇談会	3人	10.0%
つくば市高齢者福祉推進会議	5人	16.7%
つくば市こども未来懇話会	2人	6.7%
つくば市在宅医療・介護連携推進協議会	3人	10.0%
自転車のまちつくば推進委員会	2人	6.7%
つくば市生涯学習審議会	0人	0.0%
つくば市地域密着型サービス運営委員会	2人	6.7%
つくば市都市計画審議会	1人	3.3%
第2次つくば市農業基本計画策定懇話会	3人	10.0%
つくば市産業戦略策定懇話会	1人	3.3%
つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定懇話会	1人	3.3%
無回答	1人	3.3%
合計	30人	100.0%



問2 市民委員の募集について、次のうちどれで知りましたか。

〔当てはまるもの全てに✓〕

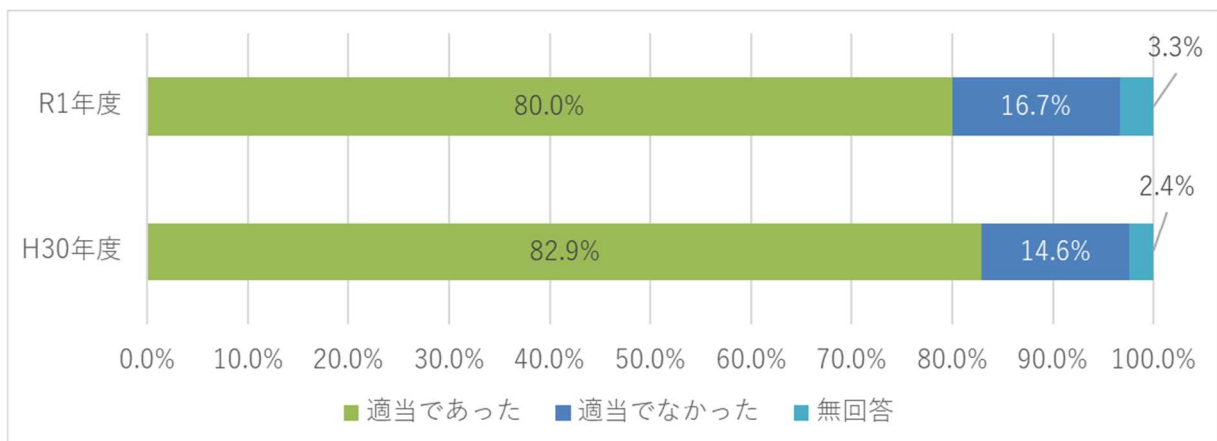
選択肢	H30年		R1年	
	回答数	構成比	回答数	構成比
広報つくば	26人	54.2%	16人	38.1%
つくば市公式ホームページ	10人	20.8%	13人	31.0%
SNS	1人	2.1%	3人	7.1%
家族又は知人からの紹介	9人	18.8%	9人	21.4%
その他	2人	4.2%	1人	2.4%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%
全体	48人	100.0%	42人	100.0%



問3 参加した審議会等の開催日時・会場はどうでしたか。

〔✓は一つ〕

選択肢	H30年度		R1年度	
	回答数	構成比	回答数	構成比
適当であった	34人	82.9%	24人	80.0%
適当でなかった	6人	14.6%	5人	16.7%
無回答	1人	2.4%	1人	3.3%
合計	41人	100.0%	30人	100.0%



問3で「適当でなかった」と回答した方にお聞きします。

問3-1 どのような日時、会場であれば参加しやすいですか。具体的に記入してください。【意見要約】

こども未来懇話会は代理出席の方が多く残念だった。日時変更した方がよい  
年間2回～3回が良い。予算が決まってからの2回目は形式だけになりそう。

市民参加を求めることを重視するならば、夜や土日休日の日程が良い。  
市民の目につく会場を検討してはどうか。

週末の開催であれば、参加しやすかった。

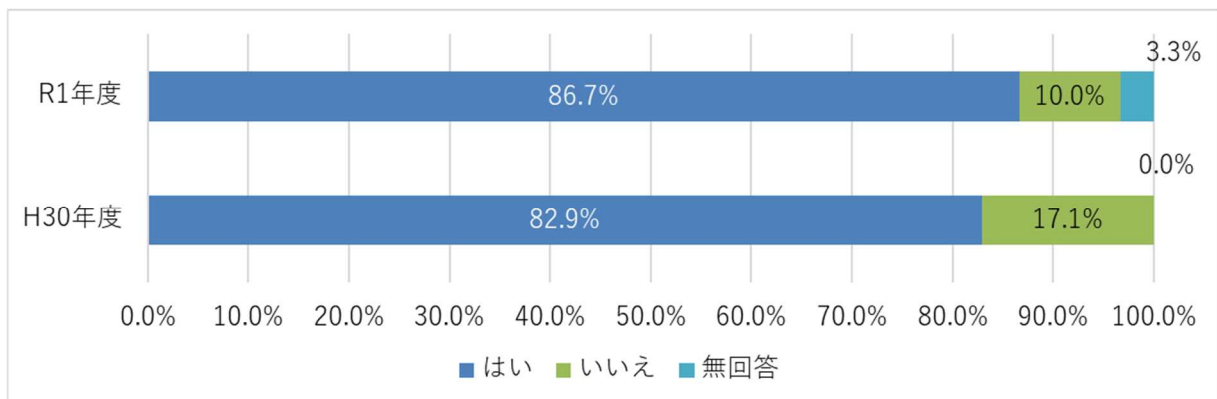
平日夜間が望ましい。

【※問1の回答は「適当であった」】

年2回の会議の初回が校長会と重なり、学校関係の出席者は代理、座長、副座長とも先方の都合で欠席という状況は残念だった。

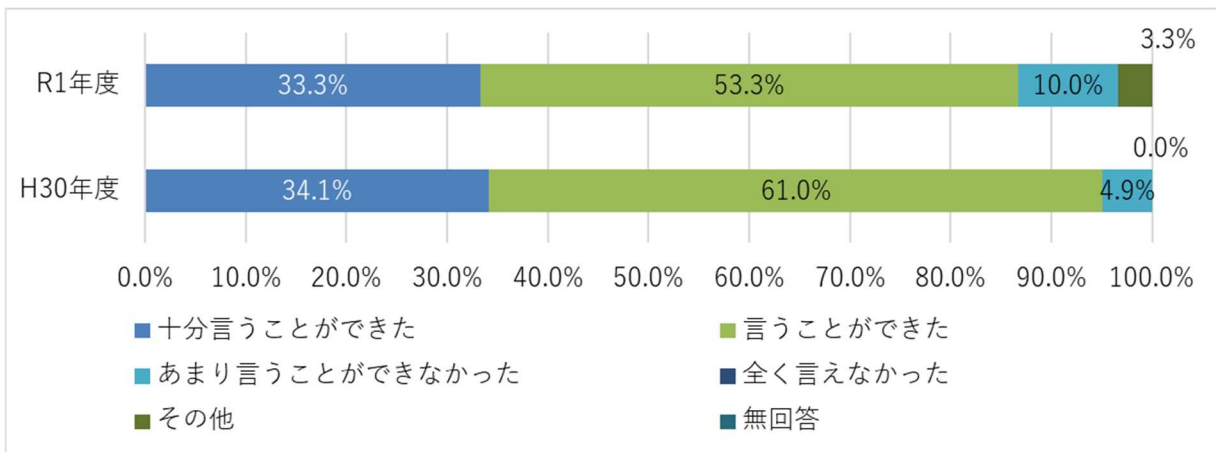
問4 会議内容（会議の趣旨やスケジュール、市民委員の役割など）について事前に説明はありましたか。 [✓は一つ]

選択肢	H30年度		R1年度	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	34人	82.9%	26人	86.7%
いいえ	7人	17.1%	3人	10.0%
無回答	0人	0.0%	1人	3.3%
合計	41人	100.0%	30人	100.0%



問5 ご自身の意見や質問などを発言することはできましたか。〔✓は一つ〕

選択肢	回答数	構成比
十分言うことができた	10人	33.3%
言うことができた	16人	53.3%
あまり言うことができなかった	3人	10.0%
全く言えなかった	0人	0.0%
その他	1人	3.3%
無回答	0人	0.0%
合計	30人	100.0%



問6 ご自身の意見は市の計画の策定や評価等に反映されたと思いますか。

〔✓は一つ〕

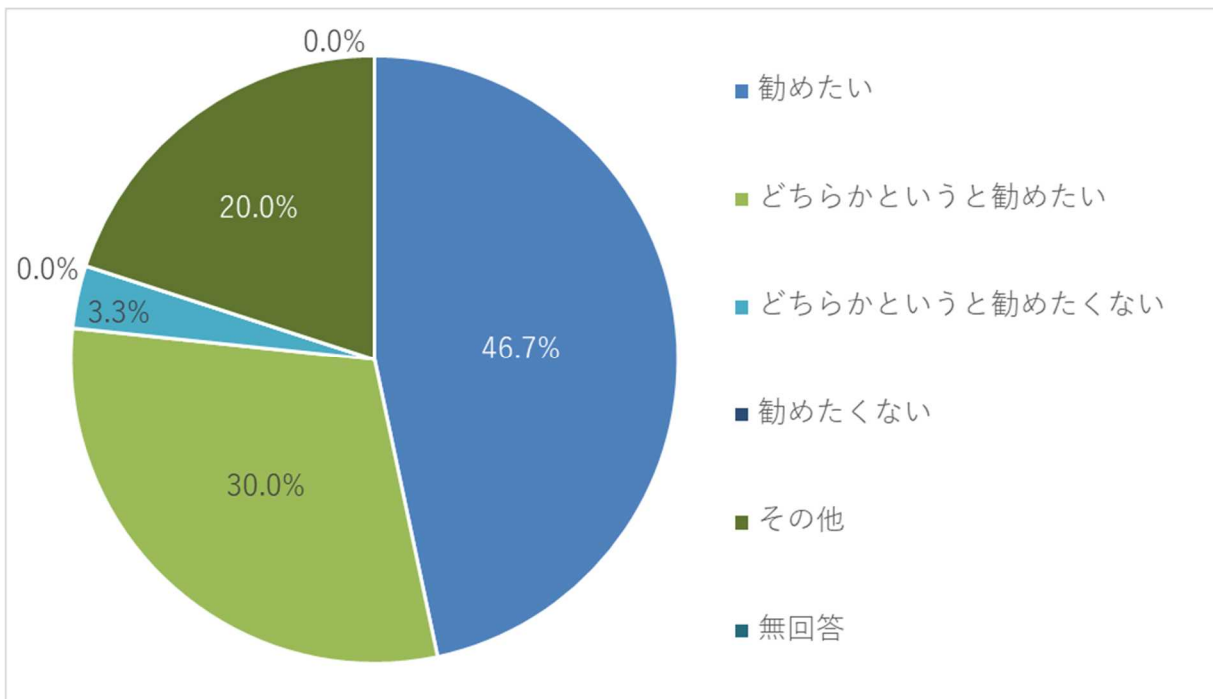
選択肢	回答数	構成比
十分反映されたと思う	2人	6.7%
反映されたと思う	8人	26.7%
反映されなかったと思う（反映しない理由等の説明があった）	0人	0.0%
反映されなかったと思う（反映しない理由等の説明がなかった）	0人	0.0%
まだ審議が途中だが、意見は取り入れられていると思う	9人	30.0%
まだ審議が途中で、意見は取り入れられていないと思う	0人	0.0%
わからない	9人	30.0%
その他	2人	6.7%
無回答	0人	0.0%
合計	30人	100.0%

その他：具体的に	まだ2回しか参加していないので分からない。
	点数の審査だったので、反映されたという実感がうすかった。

問7 審議会等に参加することを周りの人に勧めたいと思いますか。〔✓は一つ〕

選択肢	回答数	構成比
勧めたい	14人	46.7%
どちらかという勧めたい	9人	30.0%
どちらかという勧めたくない	1人	3.3%
勧めたくない	0人	0.0%
その他	6人	20.0%
無回答	0人	0.0%
合計	30人	100.0%

その他：具体的に	広報つくばで十分周知されている。
	市民委員という形で行政に直接意見を述べる機会があるということに興味を持っている方には話したい。
	自ら問題意識のある人でないと……
	どちらとも思わない。機会があれば参加してみてもよいと思う。
	審議会の内容によっては勧めたい。



問8 感想等があれば、ご自由にお書きください。(主な意見)

初めての市民委員でしたが、とてもよい経験でした。自分の視野が広がり、行政の大変さがよくわかりました。

今後も行政と地域住民が協働してすばらしいつくば市を創ってほしいと思います。私も微力ながら精一杯協力させていただきます。

推進委員会委員として加わったが、具体的にどのように委員としての責務を果たすべきか、指示や要求があって良いものと思う。委員会の開催時に出席して意見を述べるだけでなく、委員としての日常活動をもっと要求しても良いと思われる。委員会としての具体的な業務推進の姿が今一つ私には理解できていない。折角の組織であるのだから、もっと積極的、具体的、日常的な課題提示が委員に対してなされて良いものとする。

参加する人、性別、属性、年代などに偏りが出ない様な取組みも並行してされると良いかも知れません。

市民委員が事前配布された資料を読んでいるとは思えない。

市側は資料配布をひと月前に行い、あらかじめ質問を受けつけ事前の資料理解度を高めてほしい。

他の市民委員からの質問に比、市側が委嘱した委員の質問が少ない。あて職の委員が多いためか、それとも市側に遠慮しているのか。

会議開催情報は積極的に発信すべき。市HPの会議開催予定のページを見に行かなければわからないのでは、とうてい市民の市政への参加を求めているとは思えない。形だけとのえ、やっているように見せているというように感じる。

委員長には、その道の経験・見識は必要でしょう。一方、行政側からとしては、市の方向に従って進める必要は申し上げるまでもありませんが、人によっては自分だけ(座長)納得して進める傾向があるのは、事務局もお解りと思いますが……。

かなり専門的な知識をお持ちである市民委員が多い委員会という印象を持ちました。議論は高度でスムーズになりますが、真に"市民目線"であるかは疑問を持ちました。

市民委員になって初めて知ることもあり、市政について理解が進みます。事前に資料を送ってもらうのはよかったです。

審議会という性格からは制約もあろうかと思いますが、審議会委員と市役所御担当者との意見交換等の機会を付加することで、より実りある議論ができるのではないかと考えます。(意見交換の内容は審議会としての議論とは切り離し自由な意見交換という取り扱いでよろしいのではないかと考えます。)

様々なつながりができたことも良かったと思います。

「ご意見はありませんか？」では意見が言いにくいので、必ず全員に意見を出すようにしなければ委員会の意味が無いと思う。報酬を頂いているのに最初の自己紹介しか発言しない人がいらっしまったので…。

係の皆様が誠実で温かい対応だったことで、この会議にも市政の取組にも信頼と安心を感じることができました。御準備や途中の検討も大変だったことと存じます。お世話になりありがとうございました。参加したことで新聞記事や書籍も子どもの貧困をめぐるテーマが以前より目につくようになり切り抜きも増えました。たくさんの方に参加の機会をもっといただくことが関心喚起のために有効と思います。

発言順について、会議に不慣れな市民委員が最初の方だと、当日配布資料を読んだ上ですぐに何をどのくらい話せばよいのかつかめず戸惑いが大きいので、できればさいごの方にさせていただく方がよいと思います。

市民委員をもっと活用してほしい。委員会（会議）に出席するだけで、ほんとうに良いのか。

各委員に役割を与えらるるか、分科会をつくり意見を汲み上げる仕組みなどが欲しい。当然、市民の便益に繋がるようにし、資金・対価の裏付けして欲しい。

在宅医療・介護連携推進協議会に参加しているが、市民委員と言っても専門家ばかりである。在宅医療や介護を受けている本人又は家族の方が参加されることを望む。

当事者の方はお一人おひとり状況が異なっているはずで。意見の言えるオブザーバーとして参加できるようにご検討をお願いします。

時間は、短いほうがよい。



## 市民参加に関する情報の発信（広報つくば、SNS）

### 1. 広報つくば

#### パブリックコメント

現行の「つくば市鳥獣被害防止計画」が2019年度末をもって終了するため、現在、第2次計画の策定に向け準備を進めています。計画案に対する皆さんの意見を募集します。

**日** 12月9日(月)～2020年1月6日(月)

**場** 農業政策課、市ホームページ、市役所1階情報コーナー(資料閲覧のみ)、各窓口センター、各地域交流センター

**申** 上記の場所に直接、または農業政策課に必着で郵送、FAX、Eメールまたは市ホームページから

**問** 農業政策課 **FAX**029(868)7622 **E**eco021@city.tsukuba.lg.jp

#### アイラブつくばまちづくり推進委員会 市民委員

アイラブつくばまちづくり補助事業に市民提案された事業について、審査などを行い採択を検討するための委員を募集します。※任期＝2020年4月1日～2021年3月31日。詳細は市ホームページをご覧ください

**定** 6人

**申** 12月2～16日(月)17:15に、履歴書、応募の動機(800字程度)を必着で郵送または直接

**問** 市民活動課



#### 都市計画の変更に関する説明会

島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業の事業計画変更に伴う用途地域・地区計画の変更と公園の決定について説明会を行います。

**日** ①12月19日(木)19:00～②12月22日(日)10:00～ ※両日とも同内容

**場** ①土浦土木事務所つくば支所(島名2335(諏訪C13街区7)ウインズヒル)②市役所2階防災会議室2

**問** 都市計画課

### つくばR8地域活性化プランコンペティション最終審査 4件の採択プランを決定!地域を盛り上げていきます

**問** 周辺市街地振興室

周辺市街地(北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原)を対象とした地域活性化プランを募集したところ、47件の応募がありました。激戦の1次審査を通過した10件について、7月27日(土)に最終審査(提案者による公開プレゼンテーション)を実施し、審査員による審査や観覧者の「いいね!カード」による投票によって、4件の採択プランを決定しました。

今後、提案者自らが、採択された地域活性化プランを「実証事業」として、市のサポートを受けながら進めていきます。2020年2月には、事業成果や今後の事業展開を報告する「地域会議」を開催する予定です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



採択者と審査員の皆さん



市ホームページ





# 菅間小学校跡地の利活用に向けて検討を進めています

2018年12月、ジャパンイノベーションチャレンジ実行委員会から「障がい者生活支援ロボットコンテスト事業拠点」としての廃校活用の打診がありました。視察の結果、同実行委員会から市へ菅間小学校利活用の意向があったため、協議を進めています。8月の市議会全員協議会で状況を報告しました。

☑▷科学技術振興課▷公有地利活用推進課



菅間小学校跡地(中菅間877) 敷地面積:8,762㎡

## ■ ジャパンイノベーションチャレンジ実行委員会の提案概要

「障がい者生活支援ロボットコンテスト」の開催

### 内容

- ・体育館の中に一人暮らしの家を想定した模型を設置
- ・日常生活におけるさまざまな活動を想定した10程度の課題(トイレに行く、入浴するなど)を設定
- ・課題ごとに賞金(賞金総額1億円)を設定、コンテストはすべての課題が達成されるまで約10年の期間で実施する予定

### 目的

- ・障害者が介護者の支援が無くとも自立した生活を送れるための生活支援ロボットなどの実現
- ・実際の生活環境を模した空間でのコンテスト実施による、技術開発・製品化の加速

## ジャパンイノベーションチャレンジ実行委員会の概要

社会課題解決のためにロボットコンテストを企画、運営する団体。2016年から毎年、北海道の上士幌町にて「山の避難救助」をテーマとしたドローンコンテストなどを実施しています。



▲山の避難救助コンテストの様子

## ■ 市から実行委員会へ依頼している協力事項

地域の防災や市政に協力いただけるよう協議を行っており、次の事項についておおむね了承を得ています。

- ・指定避難所利用への協力をを行うこと
- ・選挙当日投票所利用への協力をを行うこと
- ・校庭に市が消防団詰所を設置すること
- ・地域利用への協力をを行うこと

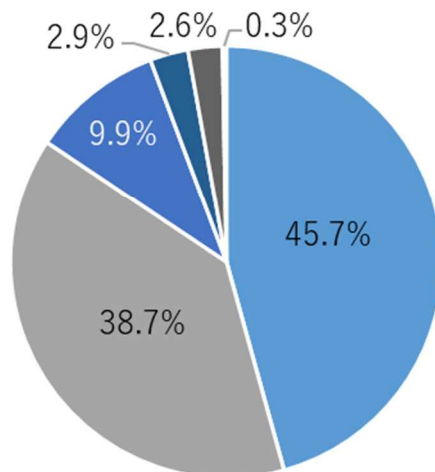
## ■ 今後の予定

- 9月26日 つくば市開発審査会での審議
- 2020年1月 市と利活用事業者(※)間で土地建物賃貸借契約を締結  
※実行委員会の運営を担う(株)TKFが利活用事業者となる
- 2020年1月以降 会場設置工事
- 2020年9月ごろ 第1回コンテスト開催



## H29年度つくば市の広報活動に関するアンケート調査

### 問1 「広報つくば」を読んでいるか



- よく読む
- たまに読む
- ほとんど読まない
- 全く読まない
- 「広報つくば」を知らない
- 無回答

## 2. SNS による情報の発信

### Facebook

 **つくばファンクラブ**  
2019年8月1日 3:00

市民委員募集 📍 第2次つくば市農業基本計画策定懇話会

市民の皆様の幅広い意見を反映させるため、第2次つくば市農業基本計画策定懇話会の市民委員を募集します。  
ご応募をお待ちしています。

🌱 応募期間：8月1日（木）～8月14日（水）  
🌱 募集人数：3名程度  
詳しくは、以下のページをご覧ください。  
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/seido/1005639/1005640/1008017.html>



**つくば市  
農業基本計画**



 **つくばファンクラブ**  
2019年10月2日 5:22

**つくば市未来構想にあなたのご意見を！**

つくばの「未来構想」にあなたのご意見を！  
つくば市では現在、これからのまちづくりの指針となる「つくば市未来構想・戦略プラン」の改定を進めており、学生や市民、企業関係者、研究機関等の様々な分野の方々と意見交換を行う「#未来構想キャラバン」を展開しています。

■つくば市未来構想の素案など現状の取り組み  
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/joho/1005290/100>  
現在、インターネット上でも意見を募集していますが、未来構想キャラバンに参加したくてもできなかった方や、つくば市のまちづくりについて知りたいという方のために、これまでの様子をまとめた動画を用意しました。

動画では、8月3日（土曜日）に開催された中学生・高校生を対象としたキャラバンと、8月6日（火曜日）に

### Instagram

 **tsukubafanclub**


**写真コンテストのお知らせ** 📷




いいね！: shigeto.xl、他

tsukubafanclub 11月18日から12月25日の間、【未来構想改定記念】写真コンテストを開催します 📷

### Twitter

 **つくば市 公式** ✓ · 2019年12月27日 ✓  
【1/17・18】春日消防本部跡地利活用に関する説明会を開催します。  
[city.tsukuba.lg.jp/jigyosha/oshir...](http://city.tsukuba.lg.jp/jigyosha/oshir...)  
🗨️ 2 📌 2 🔄

 **つくば市 公式** ✓ · 2019年12月12日 ✓  
つくば市では、教育の目標などを定める「教育大綱」を策定しています。大綱に込めた想いを市長自ら伝えるため、説明会を開催します！皆さまのご参加、ご意見をお待ちしています！  
12月14日（土）15時～@つくば市役所 コミュニティ棟1階  
[city.tsukuba.lg.jp/shisei/oshiras...](http://city.tsukuba.lg.jp/shisei/oshiras...)  
🗨️ 5 📌 6 🔄



# つくば市未来構想等推進会議

1/2

つくば市未来構想等推進会議はつくば市未来構想及びつくば市戦略プランの進捗管理を行うための会議です。

委員には、つくば市戦略プランにおける事業実施計画の確認と施策の進捗状況の評価を行っていただきます。

※つくば市未来構想は市の全分野のまちづくりの指針となる構想で、かつては「総合計画」と言われていました。まちづくり百年の計（百年先を見据えたまちづくり）の思想に基づき、研究学園都市のこれまでの50年の歩みを踏まえ、今後のまちづくりの指針を示すものとして、計画期間を21世紀半ば（2050年）としています。

つくば市戦略プランは、つくば市未来構想に掲げられた「まちづくりの理念」と「目指すまちの姿」のもと、施策展開の方針を定めた基本施策と、基本施策の取組を具体化した個別施策により構成しています。また、戦略プランを着実に達成するために、実施計画を毎年度作成・見直しします。

## 任 期

委嘱の日から1年間（予定）  
※任期は延長をする可能性があります。

## 募集人数

6人程度

## 応募資格

- 以下の条件を全て満たす者
- ・つくば市に在住、在勤、在学する満18歳以上の者（2020年9月1日現在）
  - ・平日の日中または夜間で1回2時間程度開催予定の会議に参加できる者

## 開催予定回数・時期

2020年9月から2021年3月までで2回程度

## 報 酬

会議への出席1回につき、交通費等を含む10,000円をお支払いします。

# つくば市未来構想等推進会議

2/2

## 選考方法

書類審査及び面接審査により選考します。  
※応募者多数の場合には、書類審査通過者のみ面接を実施することとし、選考結果は書面にて応募者全員に通知します。

## 応募方法

以下の書類を企画経営課へ直接お持ちいただくか、郵送してください。直接お持ちいただく場合、受付時間は平日午前8時30分から午後5時15分までです。

- ・履歴書（市販の一般的なものを使用し、自作する場合は郵便番号、住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号、経歴、顔写真などがわかる形で作成してください。）
- ・小論文（**800字程度**、書式は任意）  
テーマ：計画を実行するために重要だと思うこと（計画は自分の身近なもの置き換えていただいても構いません。）

## 応募期間

2020年7月28日（火）～8月11日（火）（必着）

## その他

- ・市職員及び市臨時職員、市議会議員は任命又は選任を受けることができません。
- ・市の附属機関等の市民委員の兼任は、同時に2つまでです。
- ・応募いただいた書類は返却しません。
- ・応募された方の個人情報保護・管理に十分留意するとともに、選考以外に使用することはありません。
- ・応募に要する費用は、すべて応募者の負担となります。

## 問合せ先

住 所：〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1  
担 当：つくば市政策イノベーション部企画経営課 行政経営係  
電 話：029-883-1111（代表）

## 第3次つくば市観光基本計画策定委員会

1/2

第3次つくば市観光基本計画の策定に当たり、学識経験者、関係機関・関係事業者、市民等の意見を反映するために設置する委員会です。

市民委員の皆さまには、つくば市に住む市民の立場から幅広い多様な御意見をいただきます。

### 任 期

委嘱の日～2022年3月31日まで

### 募集人数

5人

### 応募資格

以下の条件を全て満たす方  
(1) つくば市内に在住、在勤、在学する満18歳以上の方  
(2020年4月1日現在)  
(2) 平日開催の会議に出席できる方  
(日中又は夜間で1回2時間程度)

### 開催予定 回数・時期

任期中5回程度（時期は未定）

### 報 酬

会議への出席1回につき、10,000円をお支払いします。  
(交通費を含みます。)

# 第3次つくば市観光基本計画策定委員会

2/2

## 選考方法

書類審査と面接審査により選考します。ただし、応募者多数の場合は、書類審査後、面接審査に進む方に改めて連絡します。

## 応募方法

以下の書類を観光推進課へ直接お持ちいただくか、郵送してください。直接お持ちいただく場合、受付時間は平日午前8時30分から午後5時15分までです。

- ・履歴書（市販の書式に準ずる）  
自作する場合は郵便番号、住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号、経歴、顔写真などがわかる形で作成。
- ・小論文（**800字程度**：原稿用紙の書式は任意）  
「つくば市の観光行政に期待すること」

## 応募期間

2020年11月2日（月）～11月16日（月）（必着）

## その他

- ・市職員、市会計年度任用職員、市議会議員は任命又は選任を受けることができません。
- ・市の審議会等の市民委員の兼任は、同時に2つまでです。
- ・応募いただいた書類は返却しません。
- ・応募された方の個人情報保護・管理に十分留意するとともに、選考以外に使用することはありません。
- ・応募に要する費用は、すべて応募者の負担となります。

## 問合せ先

住 所：〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1  
担 当：つくば市経済部観光推進課 観光振興係  
電 話：029-883-1111（代表）

第2次つくば市  
観光基本計画



問 14 あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。

&lt;〇は1つ&gt;

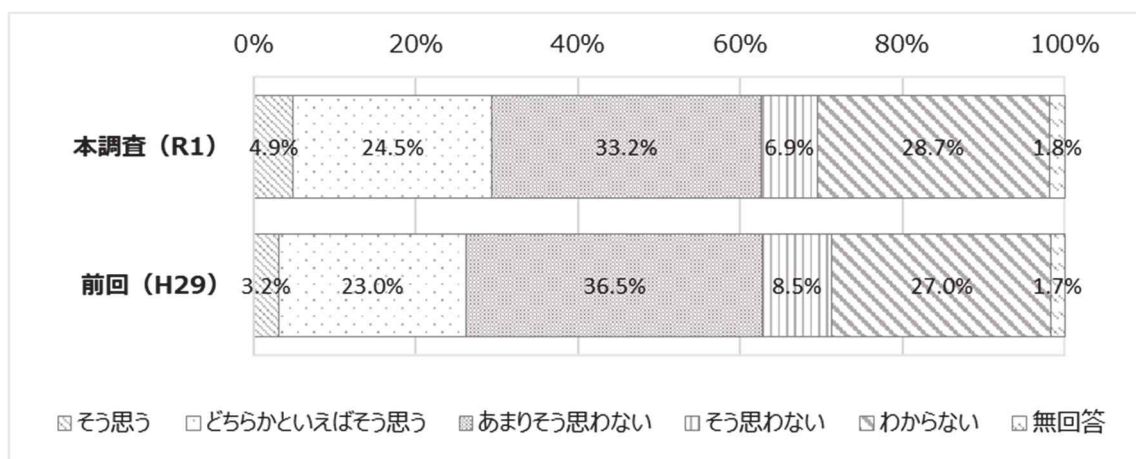
## ① 全体集計の結果

## ●「あまりそう思わない/そう思わない」が4割

- ・つくば市の市政に市民が参加できる環境が整っているかについては、「あまりそう思わない」が491人(33.2%)で最も多く、「わからない」が425人(28.7%)、「どちらかといえばそう思う」が363人(24.5%)が続いている。
- ・過年度調査と比べると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が増加している。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比
そう思う	73	4.9%	3.2%
どちらかといえばそう思う	363	24.5%	23.0%
あまりそう思わない	491	33.2%	36.5%
そう思わない	102	6.9%	8.5%
わからない	425	28.7%	27.0%
無回答	27	1.8%	1.7%
全体	1481	100.0%	100.0%

&lt;過年度調査との比較&gt;





問14 あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。 <○は1つ>

② クロス集計

そう思う      どちらかといえば      あまり      そう思わない      わからない      無回答  
 そう思う      そう思わない

【地区別】

・筑波地区、大穂地区、谷田部地区、桜地区、荃崎地区では「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が40%を超えている。



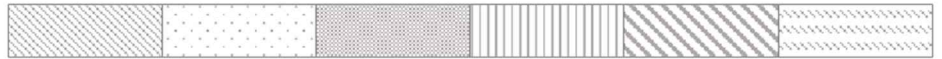
【年齢別】

・10歳代、50歳代、60～64歳、65～69歳、70～74歳では「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が40%を超えている。



### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

そう思う    どちらかといえば    あまり    そう思わない    わからない    無回答  
 そう思う    そう思わない



#### 【世帯構成別】

・三世帯同居では「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が45%を超えている。



#### 【世帯に含む人別】

・全ての世帯に含む人で「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が40%を超えている。



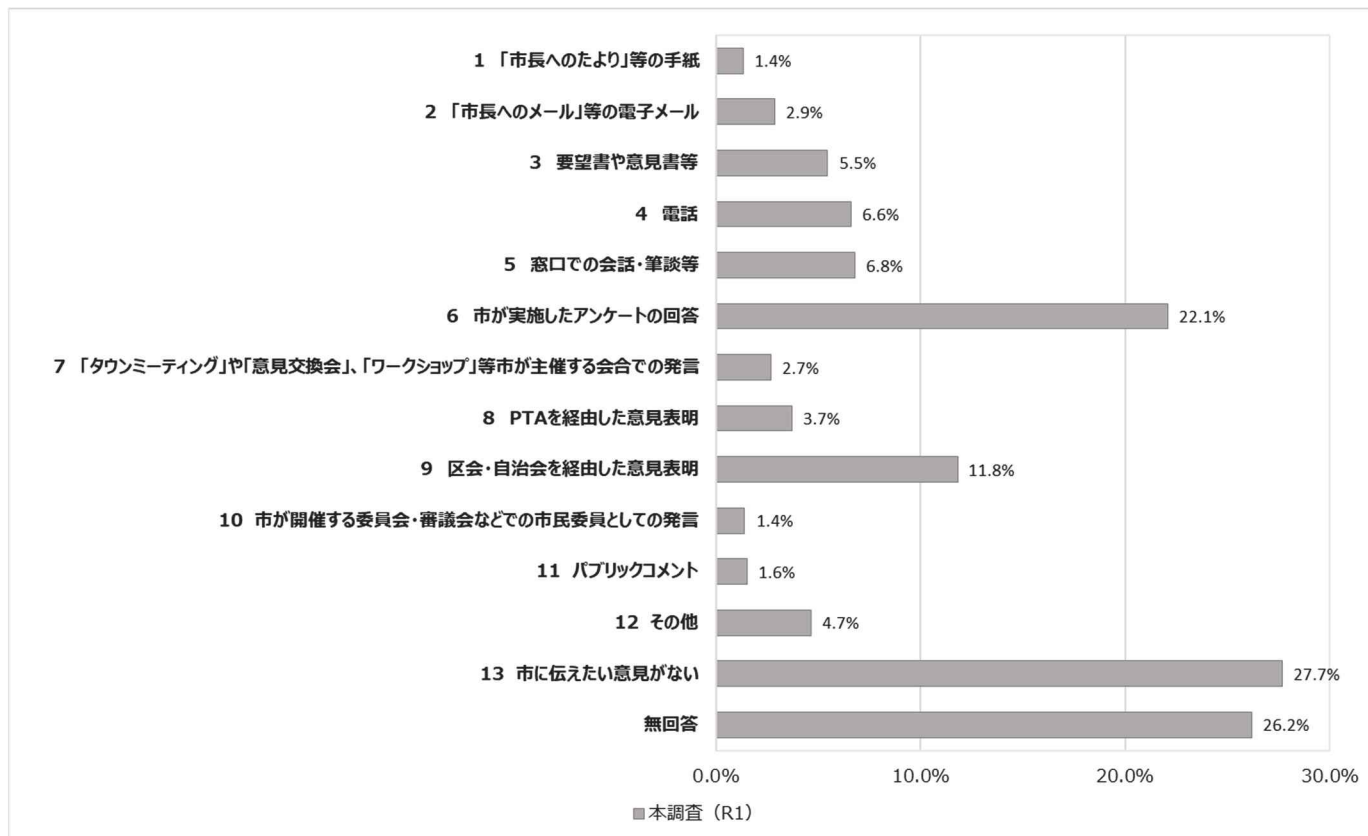
**問 15** あなたは市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。  
 <○は当てはまるものすべて>  
 ※本調査で新たに追加した設問

① 全体集計の結果

●「市に伝えたい意見がない」が2割半ば、「市が実施したアンケートの回答」が2割

・市政に対する自分の意見を市に伝えたことがあるかについては、「市に伝えたい意見がない」が410人(27.2%)で最も多く、「市が実施したアンケートの回答」が327人(22.1%)、「区会・自治会を經由した意見表明」が175人(11.8%)、「窓口での会話・筆談等」が101人(6.8%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)	
	回答数(人)	構成比
1 「市長へのたより」等の手紙	20	1.4%
2 「市長へのメール」等の電子メール	43	2.9%
3 要望書や意見書等	81	5.5%
4 電話	98	6.6%
5 窓口での会話・筆談等	101	6.8%
6 市が実施したアンケートの回答	327	22.1%
7 「タウンミーティング」や「意見交換会」、 「ワークショップ」等市が主催する会合での発言	40	2.7%
8 PTAを經由した意見表明	55	3.7%
9 区会・自治会を經由した意見表明	175	11.8%
10 市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言	21	1.4%
11 パブリックコメント	23	1.6%
12 その他	69	4.7%
13 市に伝えたい意見がない	410	27.7%
無回答	388	26.2%
全体(有効回答数)	1481	



### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

**問15** あなたは市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。  
 <○は当てはまるものすべて>  
 ※本調査で新たに追加した設問

#### ② クロス集計

##### 【地区別】

・全ての地区で「市に伝えたい意見がない」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=101)	市に伝えたい意見がない		区会・自治会を經由した意見表明		市が実施したアンケートの回答		窓口での会話・筆談等		要望書や意見書等	
	24	23.8%	17	16.8%	14	13.9%	8	7.9%	7	6.9%
大穂地区 (n=95)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		その他		窓口での会話・筆談等	
	25	26.3%	22	23.2%	8	8.4%	6	6.3%	5	5.3%
豊里地区 (n=104)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		窓口での会話・筆談等		電話	
	24	23.1%	20	19.2%	14	13.5%	13	12.5%	11	10.6%
谷田部地区 (n=192)	区会・自治会を經由した意見表明		市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		窓口での会話・筆談等		電話	
	36	18.8%	35	18.2%	34	17.7%	19	9.9%	18	9.4%
桜地区 (n=126)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		要望書や意見書等		電話	
	37	29.4%	30	23.8%	21	16.7%	9	7.1%	8	6.3%
荃崎地区 (n=153)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		窓口での会話・筆談等		電話	
	43	28.1%	33	21.6%	17	11.1%	11	7.2%	8	5.2%
研究学園地区 (n=440)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		要望書や意見書等		その他	
	139	31.6%	112	25.5%	43	9.8%	22	5.0%	21	4.8%
TX沿線地区 (n=270)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		電話		窓口での会話・筆談等		区会・自治会を經由した意見表明	
	83	30.7%	62	23.0%	26	9.6%	20	7.4%	19	7.0%

##### 【年齢別】

- ・10歳代から50歳代、65～69歳は「市に伝えたい意見がない」が最も多くなっている。
- ・60歳から75歳以上は「市が実施したアンケートの回答」が最も多くなっている。
- ・40歳代から75歳以上は「区会・自治会を經由した意見表明」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=25)	市に伝えたい意見がない		「市長へのメール」等の電子メール		要望書や意見書等／電話 ／「タウンミーティング」や「意見交換会」、「ワークショップ」等市が主催する会合での発言／その他		1		4.0%	
	15	60.0%	2	8.0%						
20歳代 (n=105)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		その他		要望書や意見書等		電話／パブリックコメント	
	59	56.2%	21	20.0%	4	3.8%	3	2.9%	2	1.9%
30歳代 (n=241)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		窓口での会話・筆談等		電話		その他	
	99	41.1%	45	18.7%	21	8.7%	15	6.2%	13	5.4%
40歳代 (n=319)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		PTAを經由した意見表明		電話／その他	
	95	29.8%	73	22.9%	29	9.1%	25	7.8%	18	5.6%
50歳代 (n=248)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		電話		窓口での会話・筆談等	
	64	25.8%	56	22.6%	36	14.5%	20	8.1%	17	6.9%
60～64歳 (n=131)	市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明／市に伝えたい意見がない		窓口での会話・筆談等		要望書や意見書等			
	35	26.7%	19	14.5%	10	7.6%	7	5.3%		
65～69歳 (n=118)	市が実施したアンケートの回答／市に伝えたい意見がない		区会・自治会を經由した意見表明		窓口での会話・筆談等		電話			
	23	19.5%	19	16.1%	14	11.9%	8	6.8%		
70～74歳 (n=169)	市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		市に伝えたい意見がない		要望書や意見書等		電話	
	44	26.0%	38	22.5%	27	16.0%	17	10.1%	15	8.9%
75歳以上 (n=119)	市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を經由した意見表明		窓口での会話・筆談等		電話		その他／市に伝えたい意見がない	
	29	24.4%	27	22.7%	15	12.6%	14	11.8%	8	6.7%

【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「市に伝えたい意見がない」「市が実施したアンケートの回答」が上位に入っている。
- ・夫婦のみ、親子、三世帯同居、その他では「区会・自治体を経由した意見表明」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=175)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		電話		窓口での会話・筆談等		その他	
	72	41.1%	30	17.1%	12	6.9%	11	6.3%	7	4.0%
夫婦のみ (n=380)	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治体を経由した意見表明		窓口での会話・筆談等		要望書や意見書等／電話	
	89	23.4%	85	22.4%	71	18.7%	28	7.4%	26	6.8%
親子 (n=703)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治体を経由した意見表明		窓口での会話・筆談等		PTAを経由した意見表明	
	203	28.9%	163	23.2%	69	9.8%	46	6.5%	44	6.3%
三世帯同居 (n=132)	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治体を経由した意見表明		電話／窓口での会話・筆談等			
	32	24.2%	28	21.2%	18	13.6%	10			
その他 (n=84)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治体を経由した意見表明		電話		窓口での会話・筆談等／その他	
	21	25.0%	12	14.3%	10	11.9%	7	8.3%	6	7.1%

【世帯に含む人別】

- ・全て世帯に含む人で「市に伝えたい意見がない」「市で実施したアンケートの回答」が上位に入っている。
- ・小中学生、65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では「区会・自治体を経由した意見表明」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=204)	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		窓口での会話・筆談等		電話		区会・自治体を経由した意見表明	
	67	32.8%	44	21.6%	16	7.8%	14	6.9%	13	6.4%
小中学生 (n=306)	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治体を経由した意見表明		PTAを経由した意見表明		電話	
	76	24.8%	76	24.8%	29	9.5%	28	9.2%	23	7.5%
65～74歳の方 (n=419)	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治体を経由した意見表明		窓口での会話・筆談等		要望書や意見書等	
	97	23.2%	80	19.1%	74	17.7%	37	8.8%	34	8.1%
75歳以上の方 (n=295)	市が実施したアンケートの回答		区会・自治体を経由した意見表明		市に伝えたい意見がない		窓口での会話・筆談等		電話	
	70	23.7%	53	18.0%	51	17.3%	29	9.8%	27	9.2%

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

**問 16** あなたは、つくば市の市政には、市民の声が活かされていると思いますか。 <○は1つ>

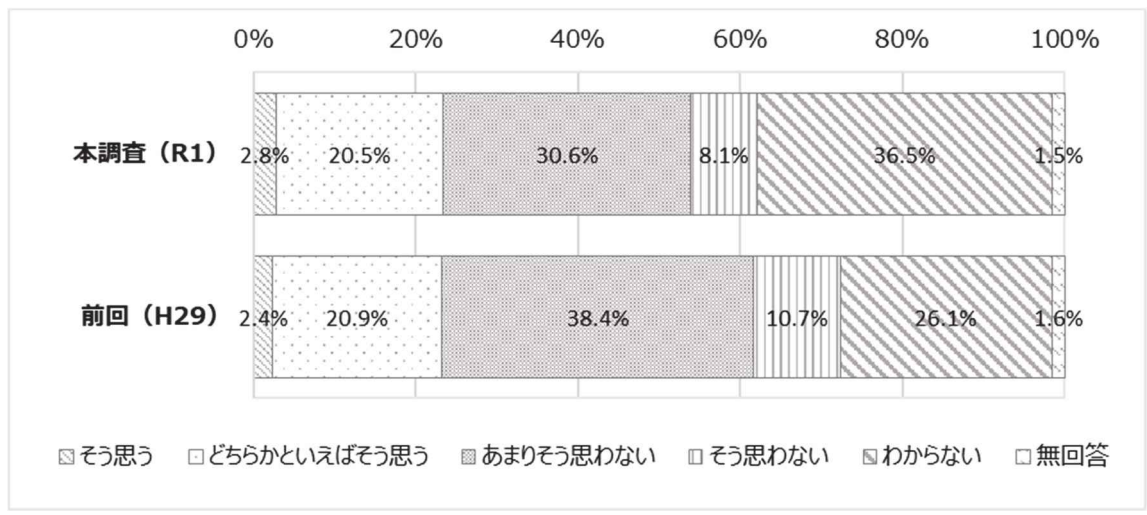
① 全体集計の結果

●**市政に市民の声が活かされているかについては、「あまりそう思わない/そう思わない」が4割近く**

- ・市政に市民の声が活かされているかについては、「わからない」が540人(36.5%)で最も多く、「あまりそう思わない」が453人(30.6%)、「どちらかといえばそう思う」が304人(20.5%)が続いている。
- ・過年度調査と比べると、「あまりそう思わない」「そう思わない」が減少している。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比
そう思う	42	2.8%	2.4%
どちらかといえばそう思う	304	20.5%	20.9%
あまりそう思わない	453	30.6%	38.4%
そう思わない	120	8.1%	10.7%
わからない	540	36.5%	26.1%
無回答	22	1.5%	1.6%
全体	1481	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



II  
3

問16 あなたは、つくば市の市政には、市民の聲が活かされていると思いますか。 <〇は1つ>

② クロス集計

そう思う      どちらかといえば  
                  そう思う      あまり  
  そう思わない      そう思わない      わからない      無回答

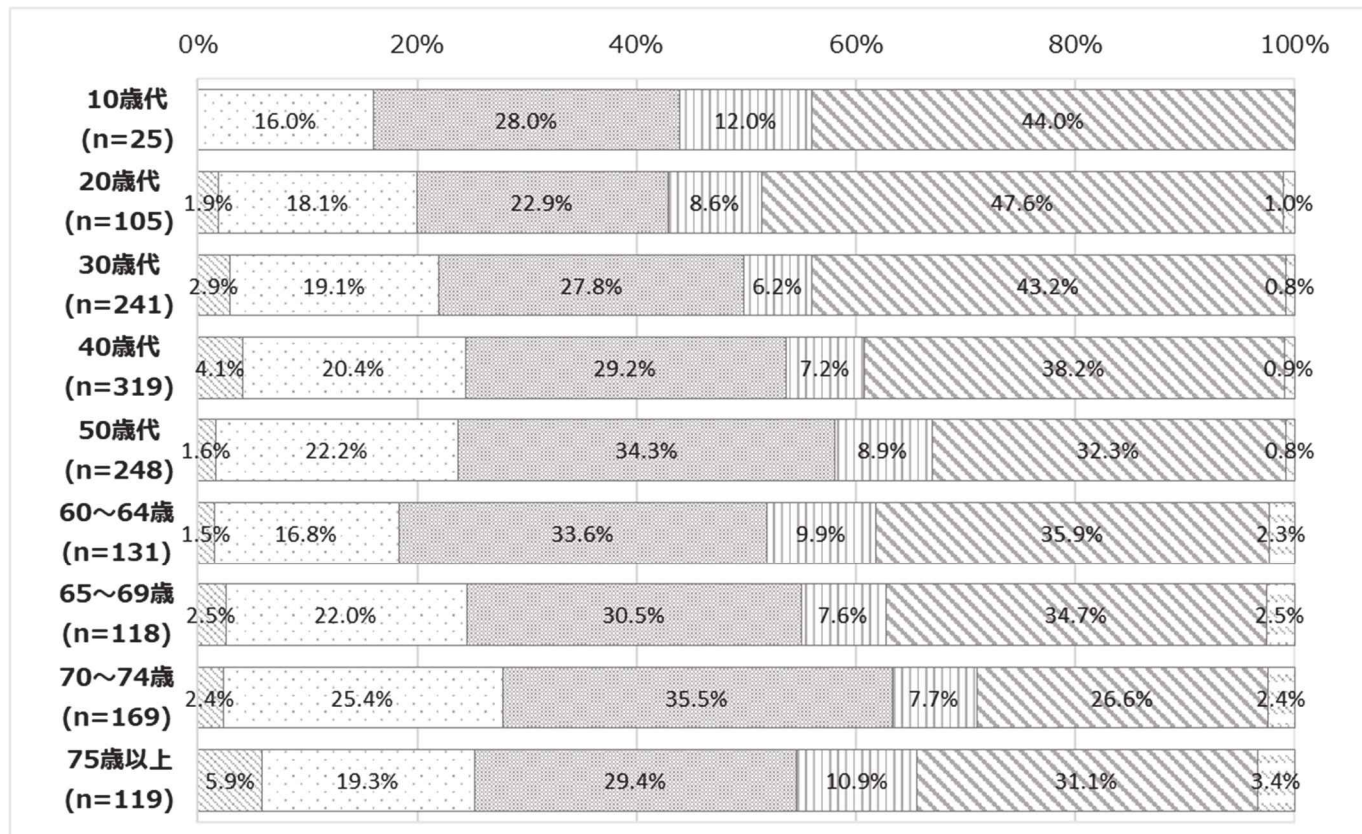
【地区別】

・筑波地区、大穂地区、荃崎地区では「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が45%を超えている。



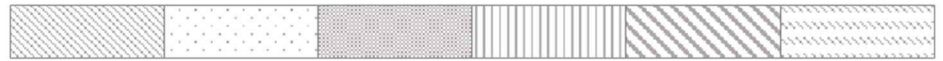
【年齢別】

・10歳代、50歳代、60～64歳、70歳以上では「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が40%を超えている。



### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

そう思う      どちらかといえば  
                   そう思う      あまり  
   そう思わない      そう思わない      わからない      無回答



#### 【世帯構成別】

・三世帯同居、その他では、「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が45%を超えている。



#### 【世帯に含む人別】

・全てで「あまりそう思わない/そう思わない」の割合が40%を超えている。







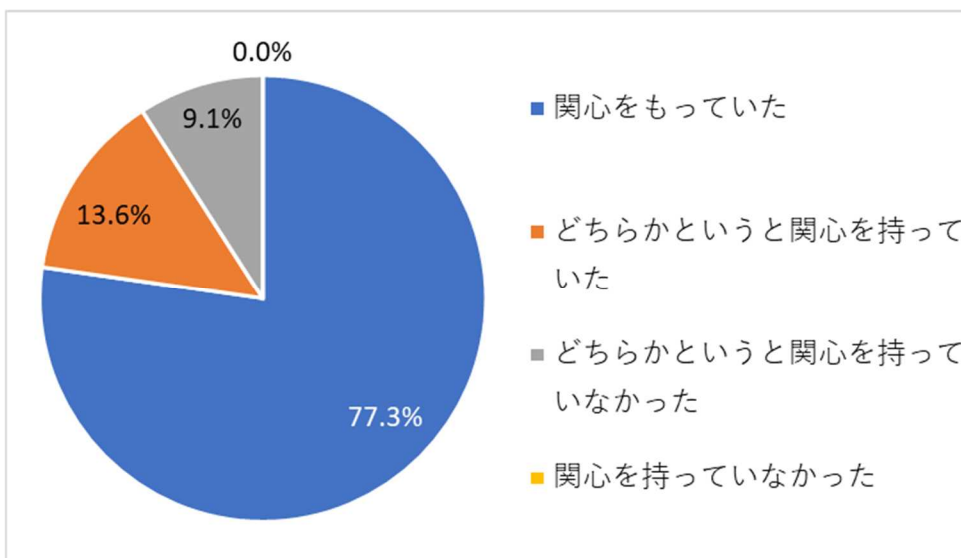
令和 2 年度（2020 年度）市民参加に関するアンケート 集計結果

調査期間：	令和 2 年（2020 年）11 月 2 日から 9 日まで
調査対象：	つくば市未来構想市民ワークショップ 参加者 つくば市未来構想等審議会 市民委員 令和元年度（2019 年度）つくば市行政経営懇談会 市民委員 令和元年度（2019 年度）市民委員意見交換会 申込者
調査方法：	電子メールにて回答フォームの URL 及び QR コードを送付 パソコン又はタブレット端末、スマートフォン等により、いばらき電子申請から回答
回収状況：	送付人数…50 人 回答人数…22 人（回答割合…44.0%）

問 1 みなさんにお聞きします。

審議会の委員やワークショップ、住民説明会、アンケートなどの市の意見募集に参加する以前のあなたは、市政に関心を持っていましたか。

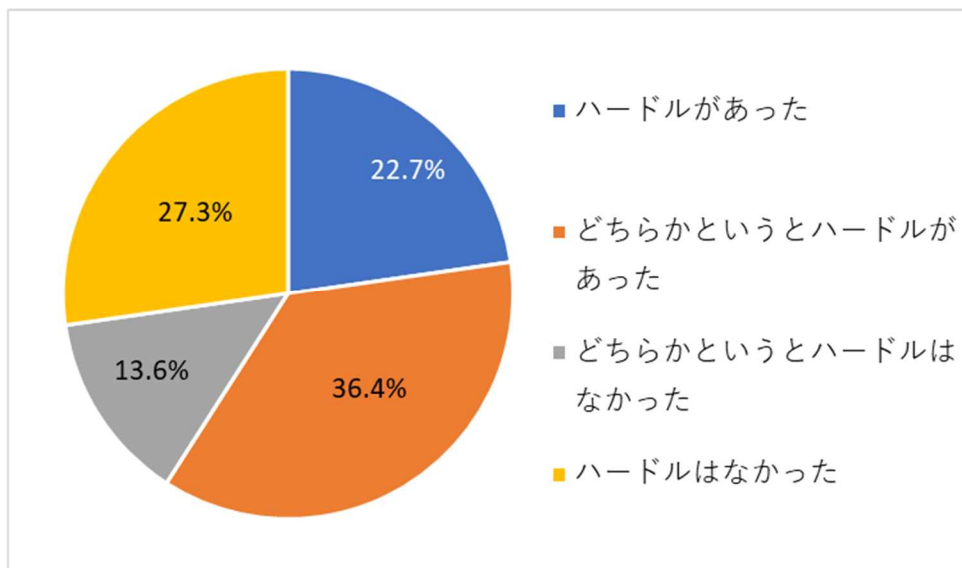
設問	回答者数	構成比
関心をもっていた	17人	77.3%
どちらかというに関心を持っていた	3人	13.6%
どちらかというに関心を持っていなかった	2人	9.1%
関心を持っていなかった	0人	0.0%
合計	22人	100.0%



問2 みなさんにお聞きします。

審議会の委員やワークショップ、住民説明会、アンケートなどの市の意見募集に参加する以前のあなたは、市政への参加に対してハードル（気持ちの面や時間、交通手段、生活面、体力などで参加を迷った要因）はありましたか。

設問	回答者数	構成比
ハードルがあった	5人	22.7%
どちらかというとハードルがあった	8人	36.4%
どちらかというとハードルはなかった	3人	13.6%
ハードルはなかった	6人	27.3%
合計	22人	100.0%



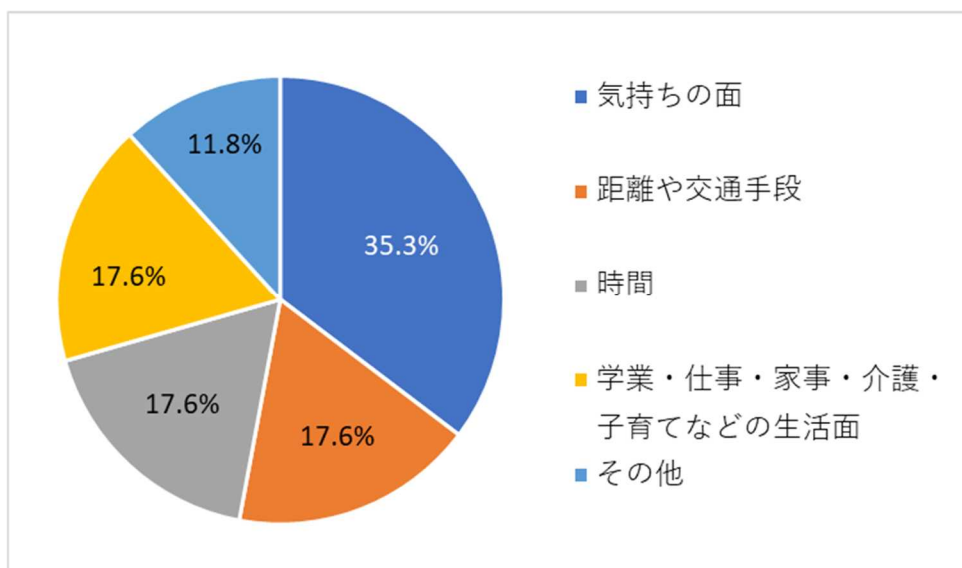
問3 問2で「ハードルがあった」または「どちらかというとハードルがあった」と回答した方にお聞きします。

どのようなハードルがありましたか？（※複数選択可）

設問	回答者数
気持ちの面	6人
距離や交通手段	3人
時間	3人
学業・仕事・家事・介護・子育てなどの生活面	3人
その他	2人

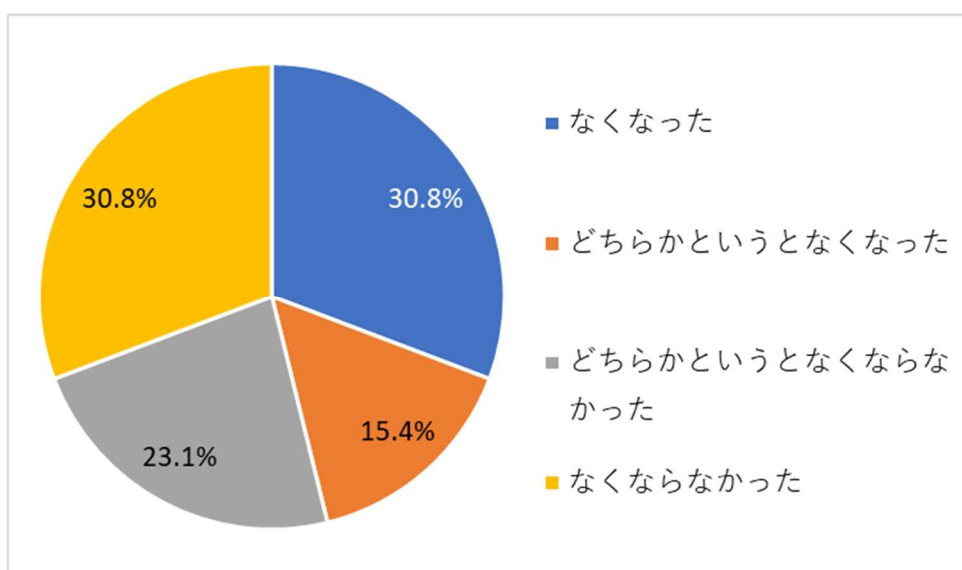
(N=13)

その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の昼間に仕事をしているとハードルは高い</li> <li>・場馴れしている私でも抵抗があり、言葉を選ぶのに苦労した</li> </ul>
-----	--



問4 問2で「ハードルがあった」または「どちらかというハードルがあった」と回答した方にお聞きします。  
参加にあたり、ハードルはなくなりましたか？

設問	回答者数	構成比
なくなった	4人	30.8%
どちらかというなくなった	2人	15.4%
どちらかというなくならなかった	3人	23.1%
なくならなかった	4人	30.8%
合計	13人	100.0%



問5 問4で「なくなった」または「どちらかというとなくなった」と回答した方にお聞きします。

どのようにしてハードルがなくなりましたか。

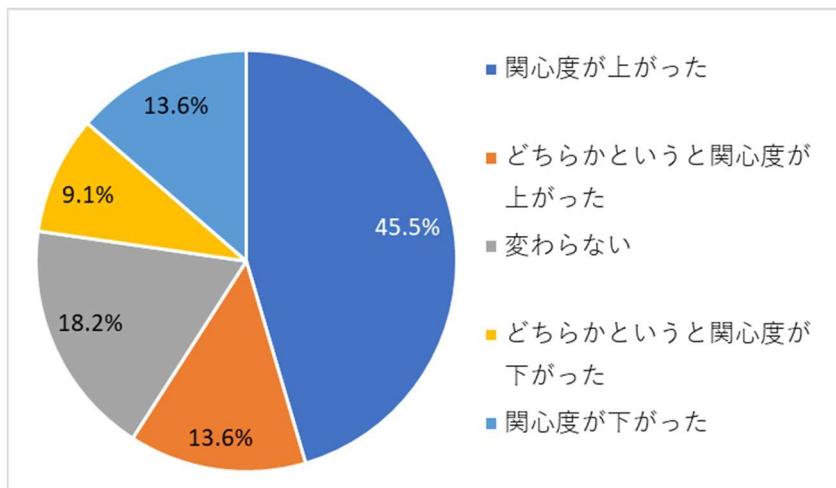
設問	回答者数	構成比
自分で解決した	6人	85.7%
市の取組により解決した	1人	14.3%
合計	7人	100.0%

自分で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政について日頃から関心を持つようにし、情報を整理した</li> <li>・ 助成金を申請するにあたり、市政に興味を持った</li> <li>・ 退職後非常勤の仕事に変わり、時間ができた</li> <li>・ 定年になり、時間の調整に余裕ができた</li> <li>・ 学業、仕事、家庭の両立が出来る様になった</li> <li>・ 勇気をもって発信した</li> </ul>
市の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民説明会が開催され、参加できた</li> </ul>

問6 みなさんにお聞きします。

審議会の委員やワークショップ、住民説明会、アンケートなどの市の意見募集に参加した後、参加以前と比べてあなたの市政への関心度は変わりましたか。

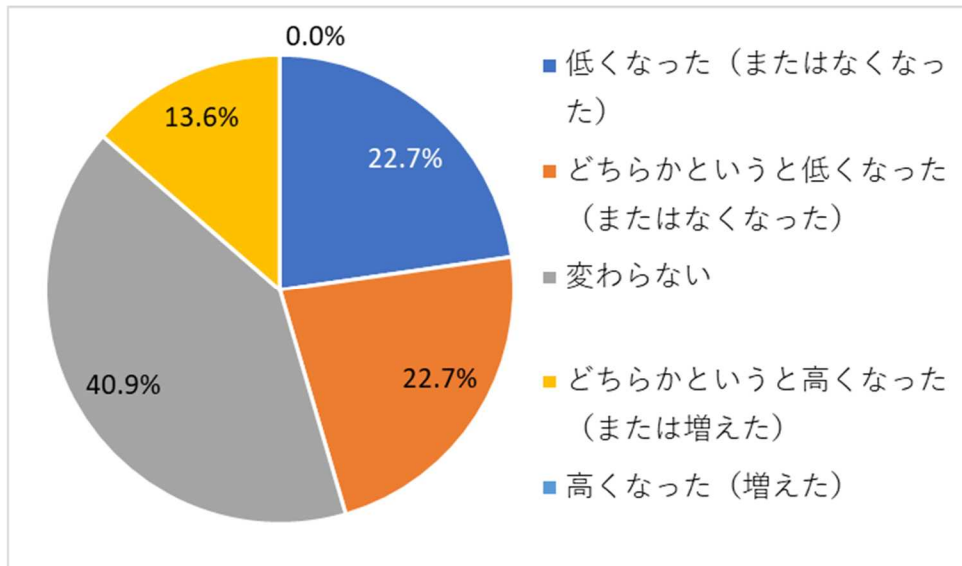
設問	回答者数	構成比
関心度が上がった	10人	45.5%
どちらかというに関心度が上がった	3人	13.6%
変わらない	4人	18.2%
どちらかというに関心度が下がった	2人	9.1%
関心度が下がった	3人	13.6%
合計	22人	100.0%



問7 みなさんにお聞きします。

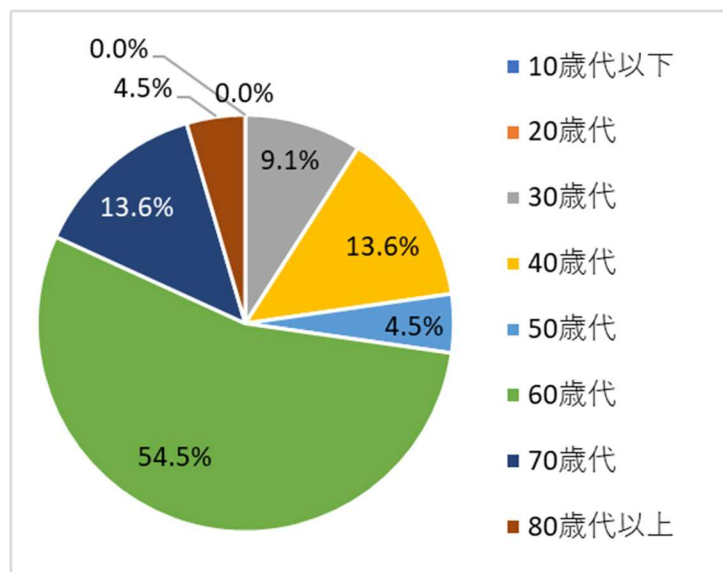
審議会の委員やワークショップ、住民説明会、アンケートなどの市の意見募集に参加した後、参加以前と比べて参加に対するハードルの高さは変わりましたか？

設問	回答者数	構成比
低くなった（またはなくなった）	5人	22.7%
どちらかというとき低くなった（またはなくなった）	5人	22.7%
変わらない	9人	40.9%
どちらかというとき高くなった（または増えた）	3人	13.6%
高くなった（増えた）	0人	0.0%
合計	22人	100.0%



問8 みなさんにお聞きします。あなたの年齢を教えてください。

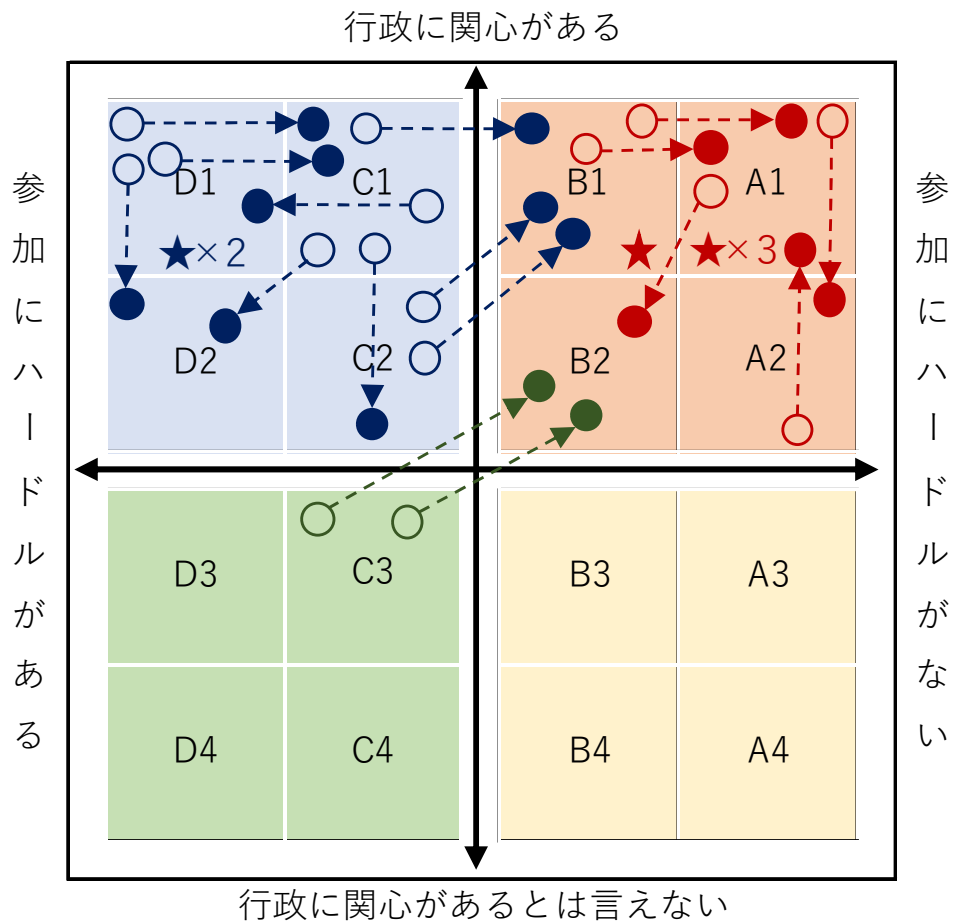
設問	回答者数	構成比
10歳代以下	0人	0.0%
20歳代	0人	0.0%
30歳代	2人	9.1%
40歳代	3人	13.6%
50歳代	1人	4.5%
60歳代	12人	54.5%
70歳代	3人	13.6%
80歳代以上	1人	4.5%
合計	22人	100.0%



### 行政への関心と参加のハードルの変化

- → 市の意見募集に参加する前
- → 市の意見募集に参加した後
- ★ → 参加前と後で変化がなかったもの

【図1】



※ 「A1」、「A2」等各枠内での記号の配置はアンケート結果によらない。